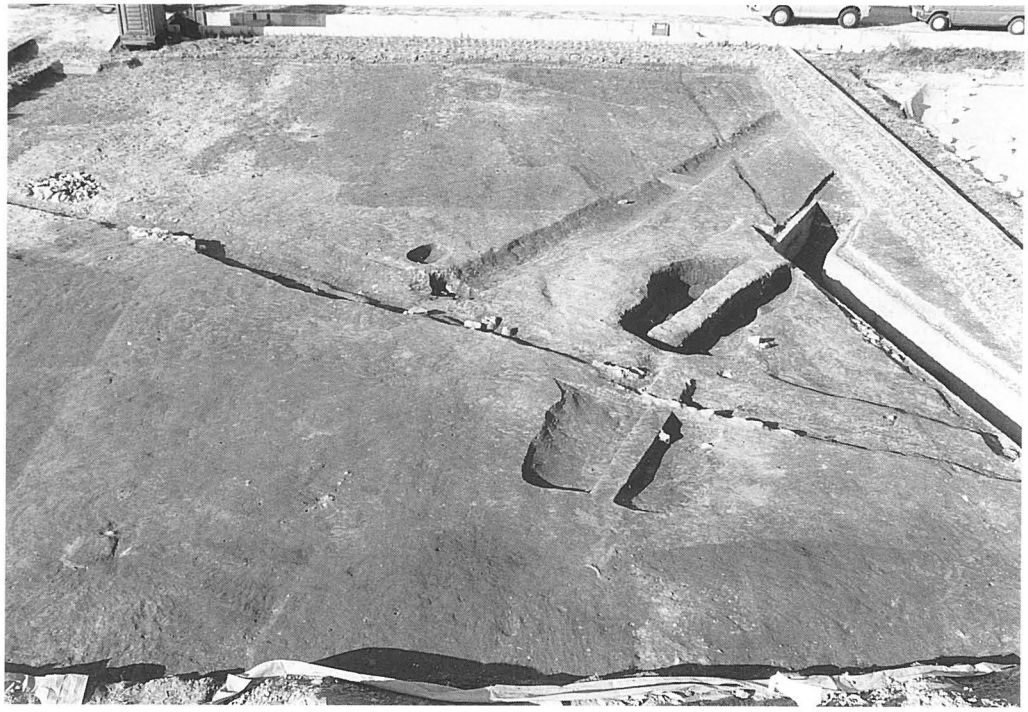
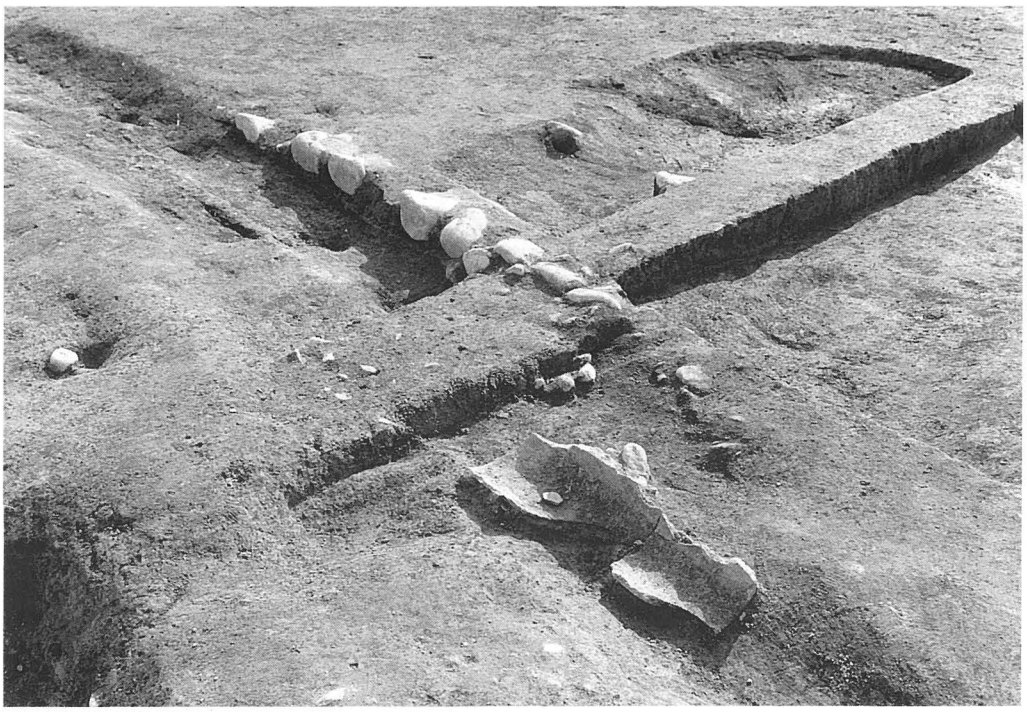


1　田図南地区B調査区西区画全景

2　田図南地区B調査区東区画全景

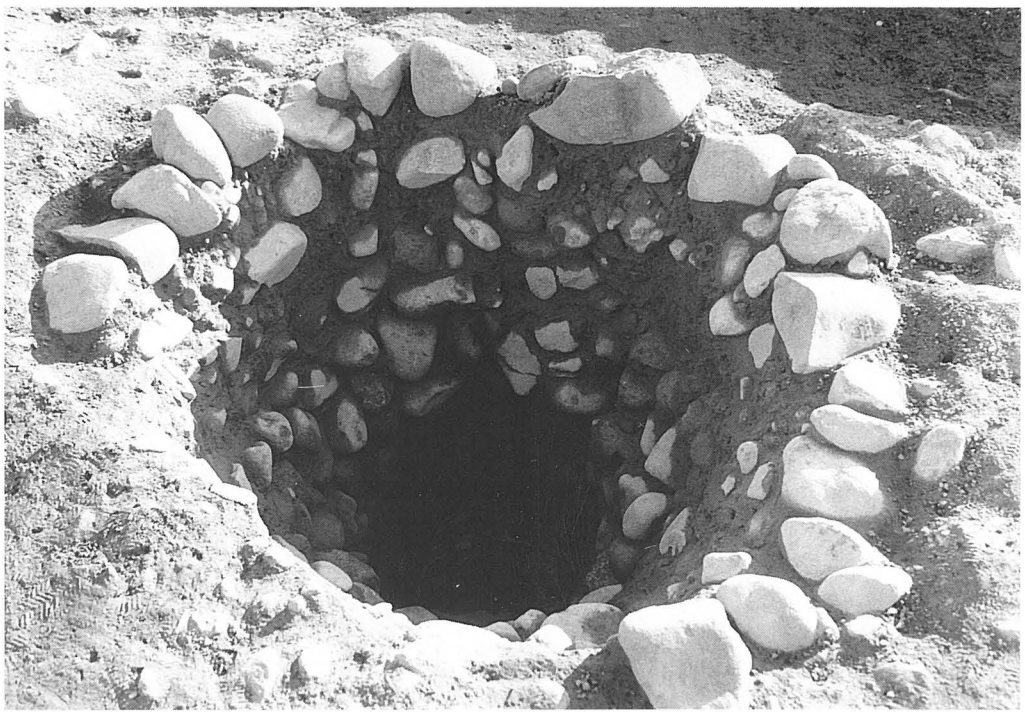
1　三谷幹線水路土層断面

2　SD03 完掘全景（西より）



1　SD03 護岸列石検出状況

2　SX03 完掘状況



1　SE01 完掘状況

2　SE01 井側検出状況

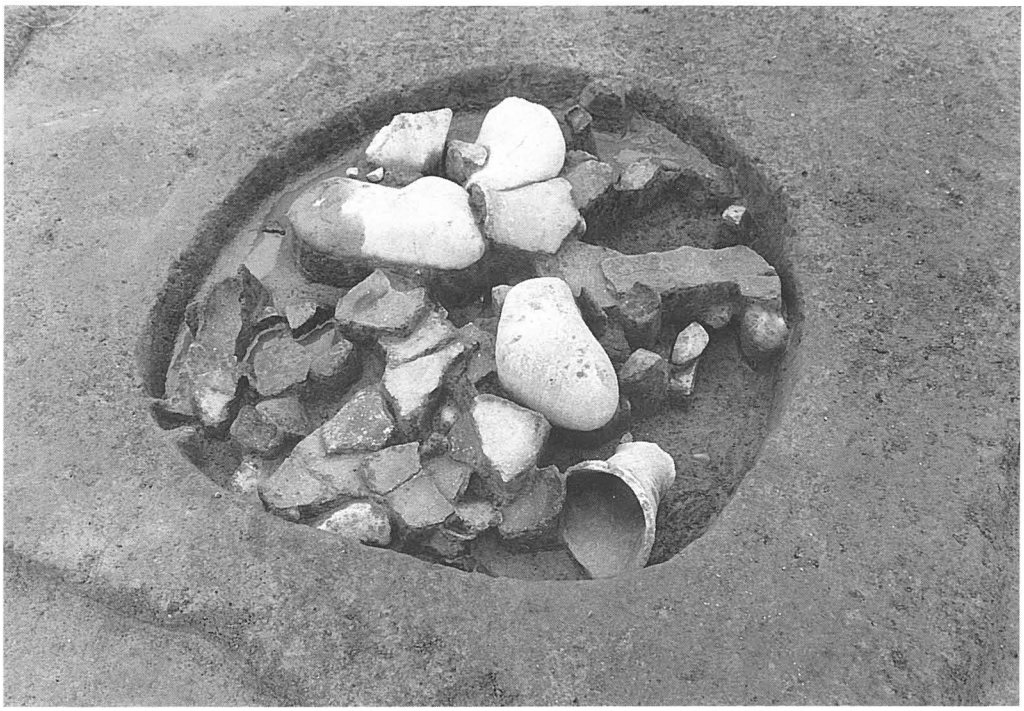
1　SX01 完掘状況及び土層

2　SH01･03 完掘状況

1　SH02 完掘状況

2　SX04 完掘状況

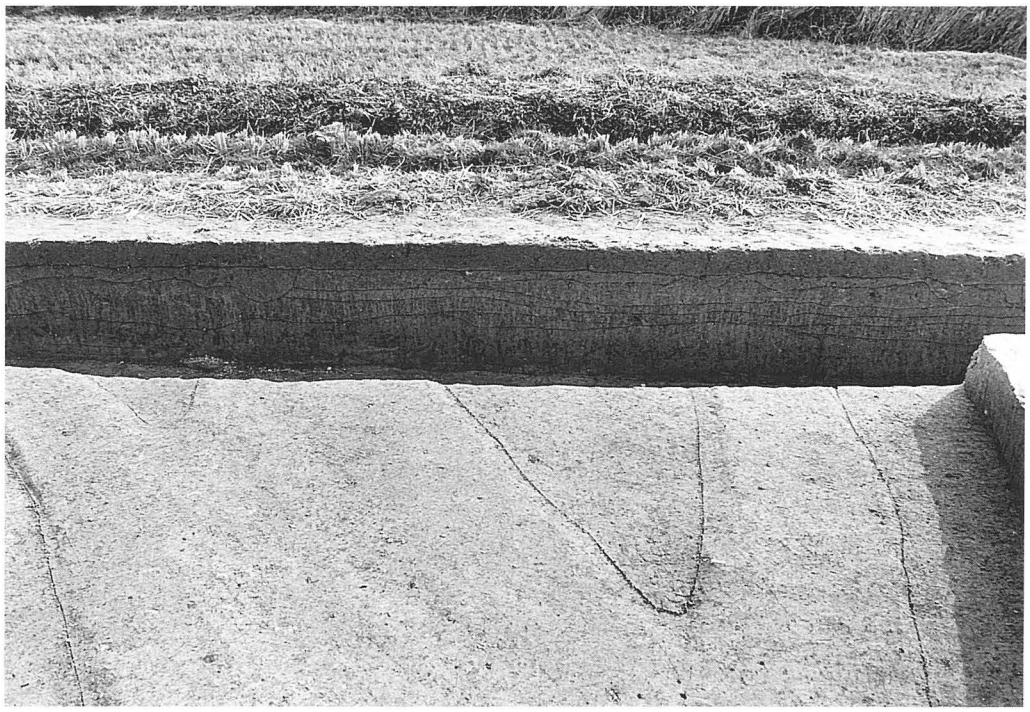
1　SK02(西) 遺物出土状況



2　SK04(東) 遺物出土状況

1　田図南地区D調査区完掘全景

2　田図南地区D調査区土層図(SD01)



1　田図南地区D調査区土層図(畦畔断面)

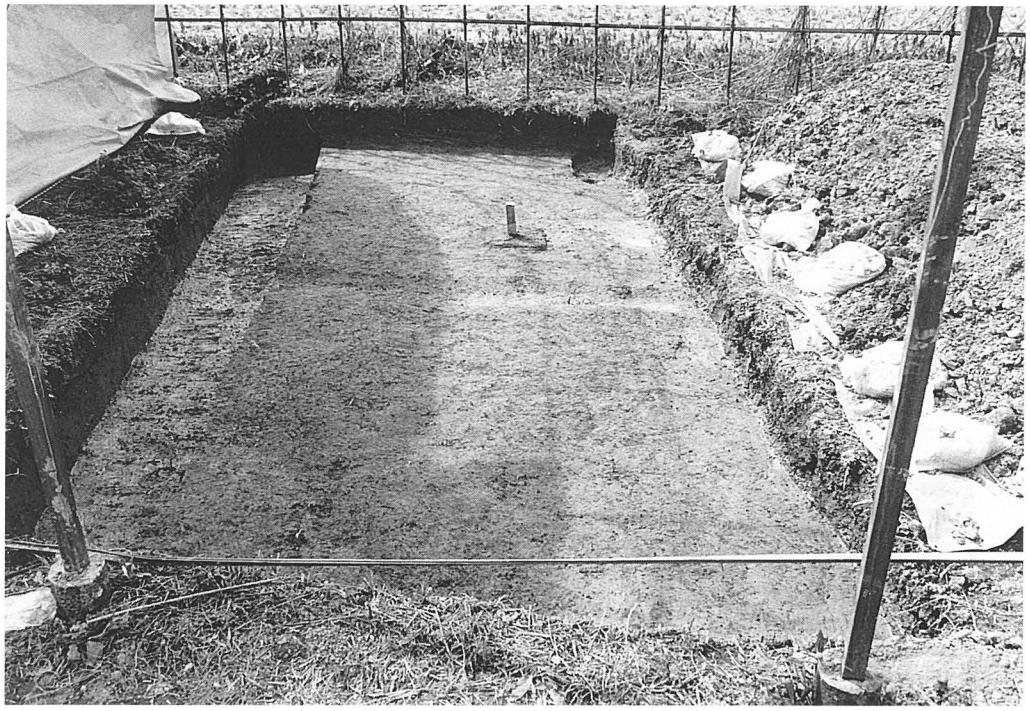
2　田図南地区D調査区土層図(SD03)

1　田図南地区D調査区確認トレンチ全景

2　田図南地区F調査区第1トレンチ遺構検出全景

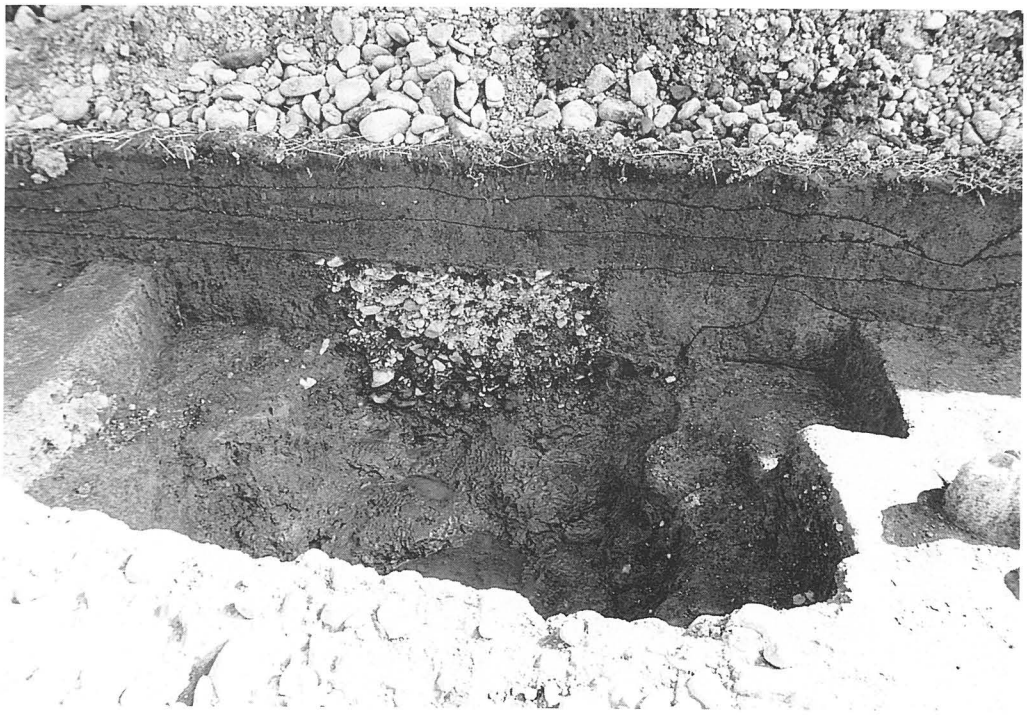
1　田図南地区F調査区第2トレンチ全景

2　田図南地区F調査区第3トレンチ全景及び土層



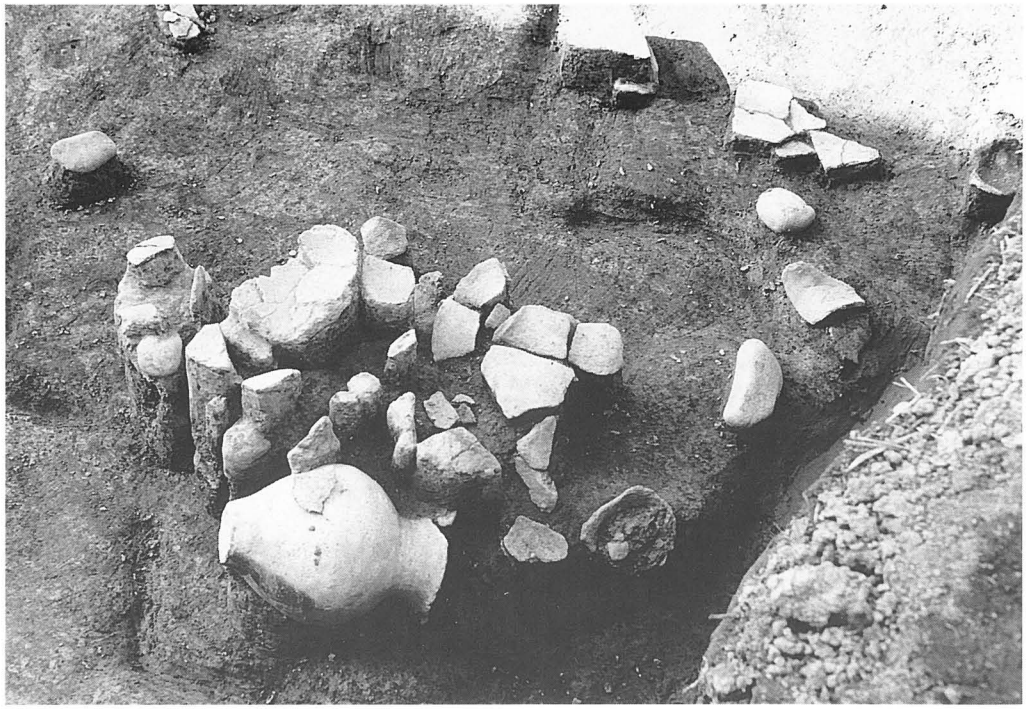
1　田図南地区F調査区第4トレンチ全景

2　第1トレンチ基本土層（東半）



1　第1トレンチ基本土層（西半）

2　第1トレンチ SD01 遺物出土状況全景



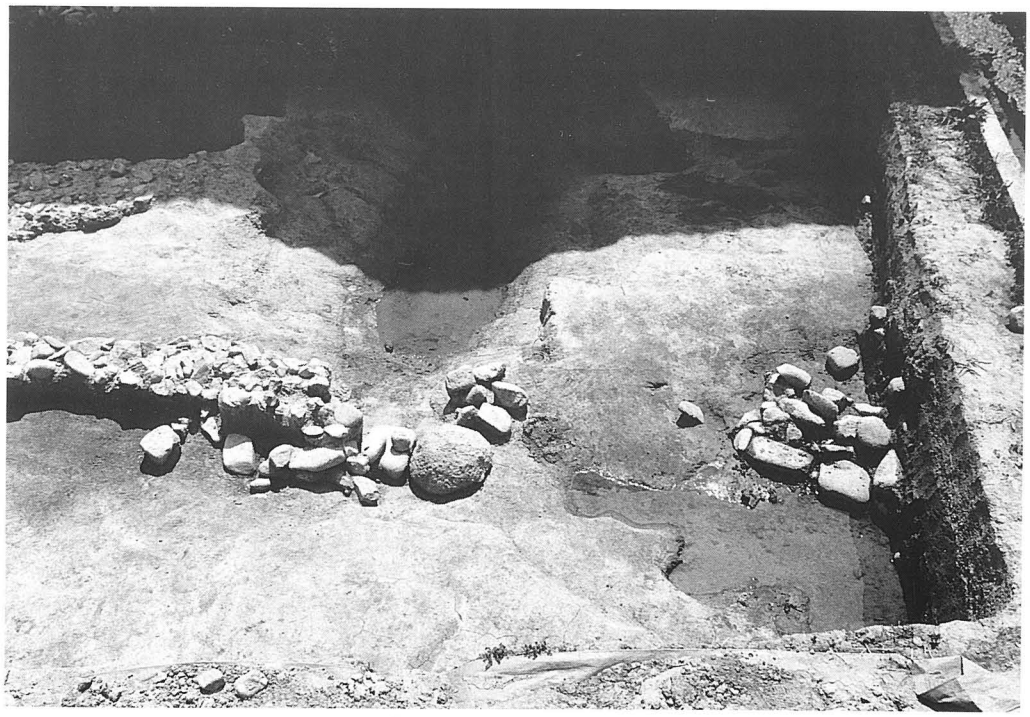
1　第1トレンチ遺物出土状況（部分拡大1）

2　第1トレンチ遺物出土状況（部分拡大2）

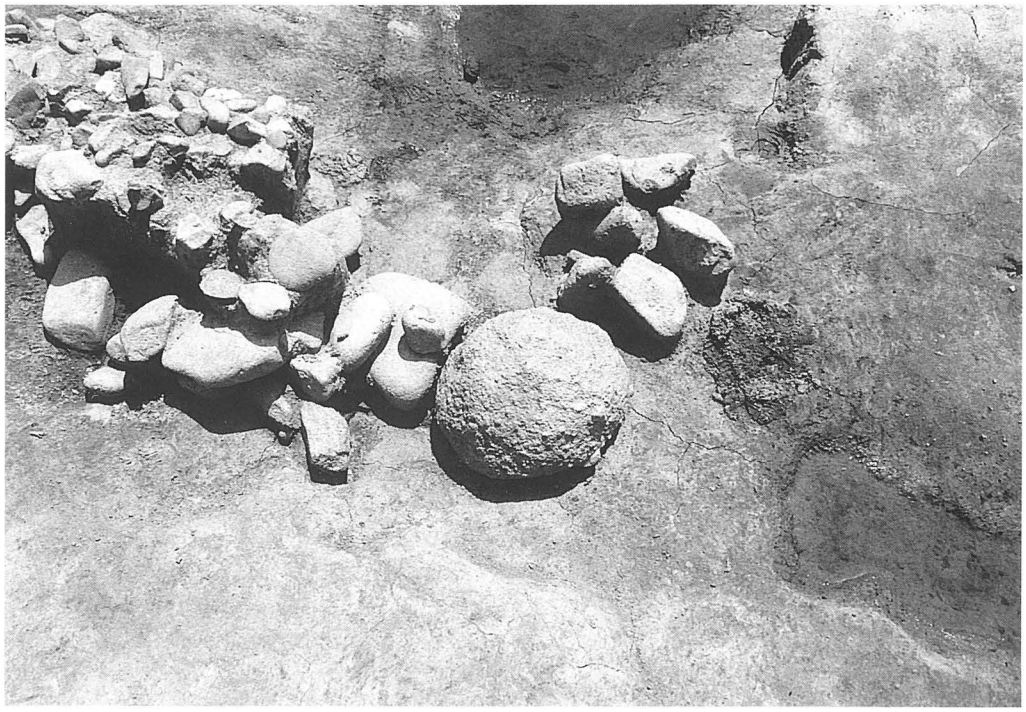
1　第2トレンチ SD02 遺物出土状況（部分拡大2）全景

2　SD02・SD03 検出状況

1　SD03 石組検出状況



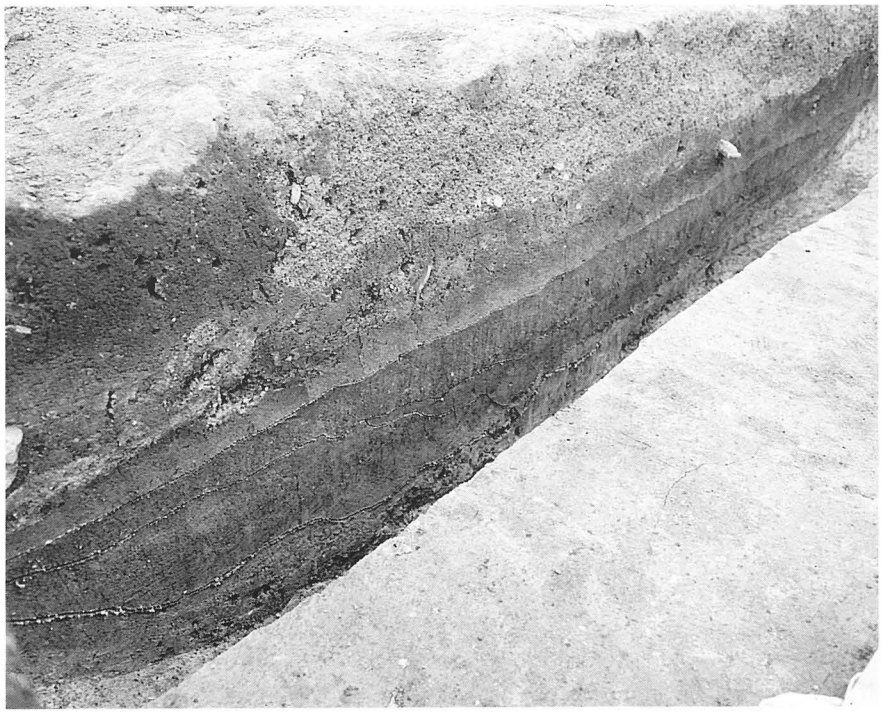
2　SD03 完掘状況



1　SD03 五輪塔空輪石出土状況

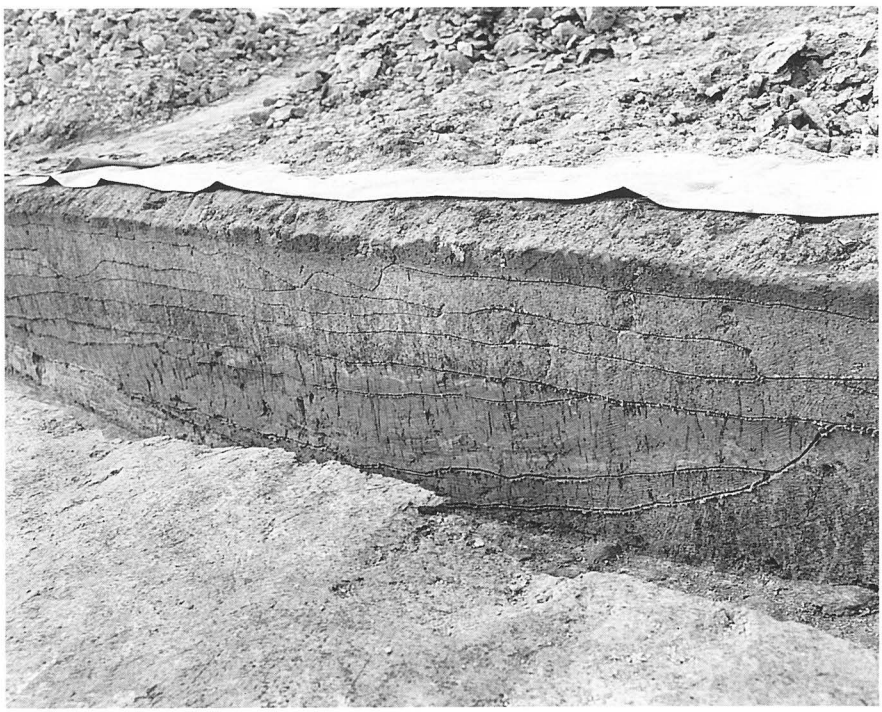
2　盃状穴石出土状況

1　南海道推定地第1トレンチ全景



2　南海道推定地第1トレンチ土層

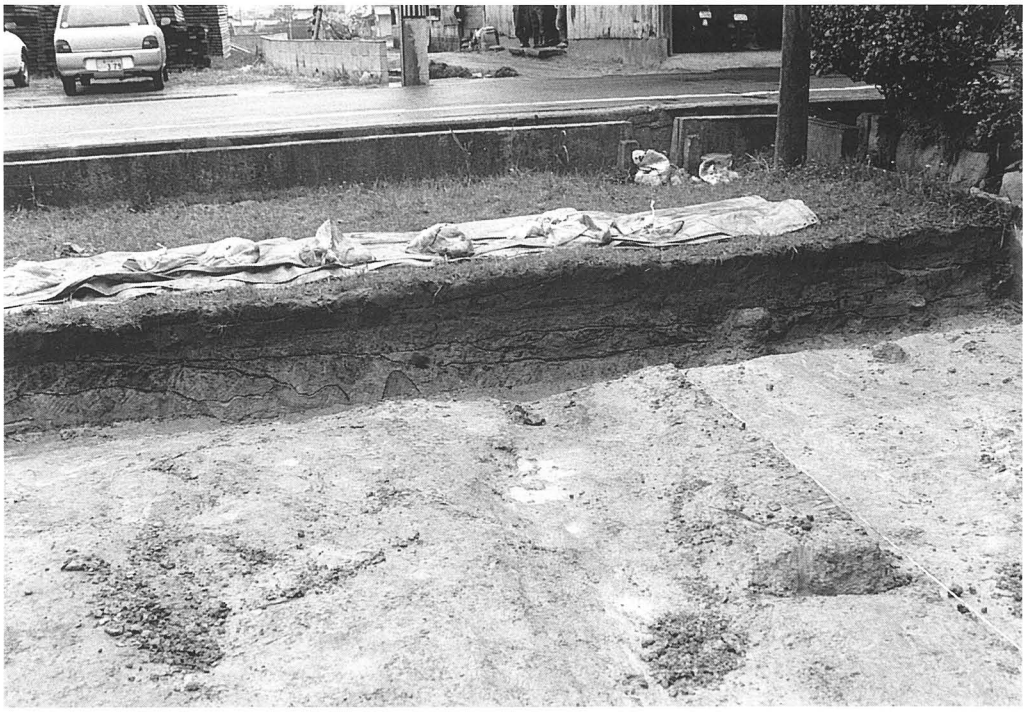
1　南海道推定地第2トレンチ全景



2　南海道推定地第2トレンチ土層（北半）

1　南海道推定地第2トレンチ土層（南半）

2　溝状遺構完掘全景



1　南海道推定地第3調査区東壁土層

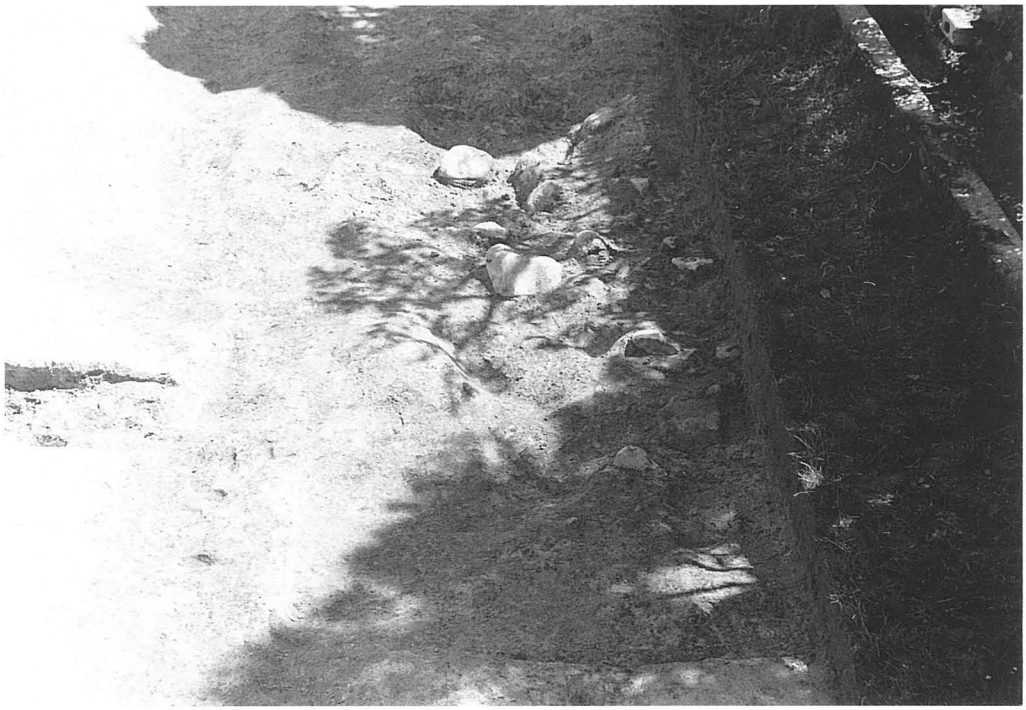
2　南海道推定地第3調査区東壁土層拡大(1)

1　南海道推定地第3調査区東壁土層拡大(2)

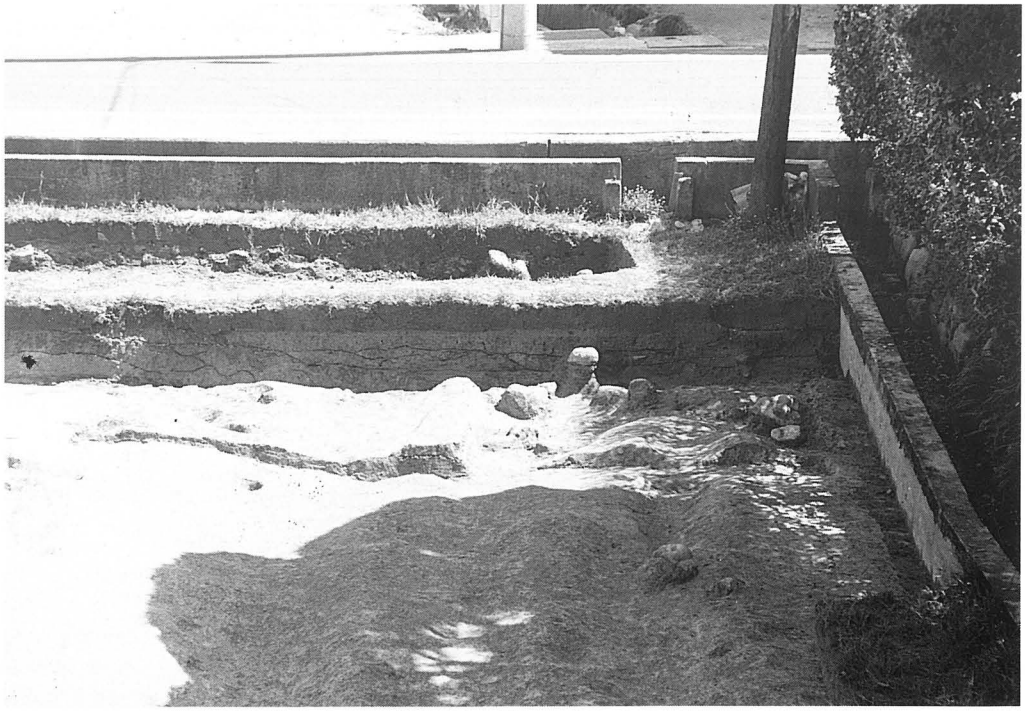
2　南海道推定地第3調査区東壁土層拡大(3)

1　南海道推定地第3調査区全景

2　南海道推定地第3調査区完掘全景



1　南海道推定地第3調査区西側集石の状況



2　南海道推定地第3調査区東側集石の状況

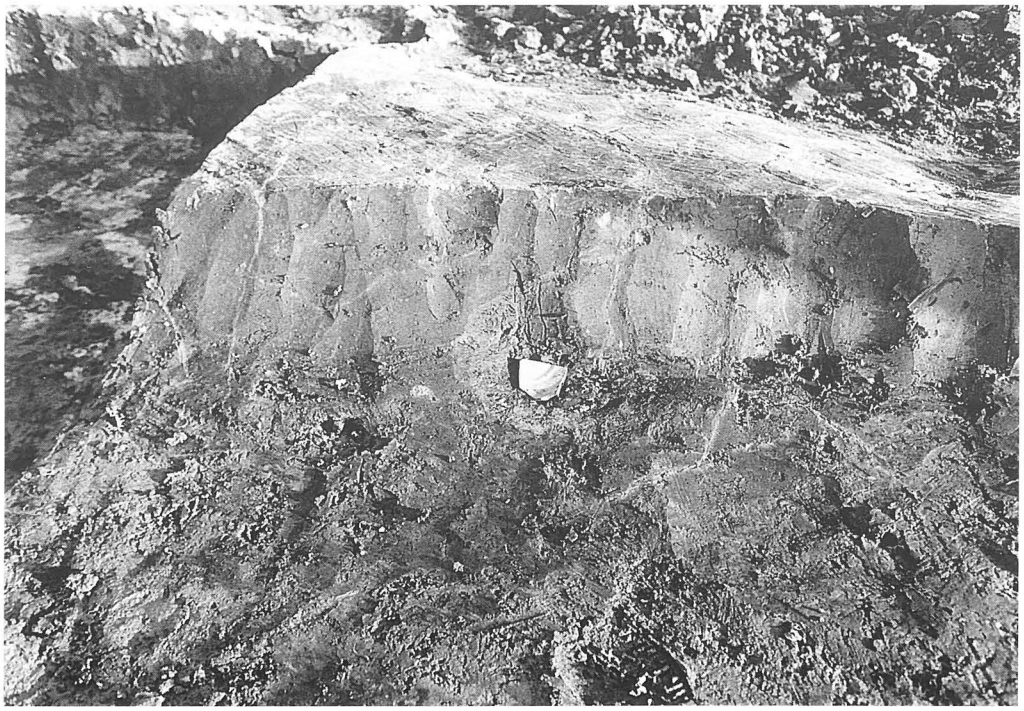
1　田図北地区（大池遺跡）基本土層断面

2　SD02 検出状況

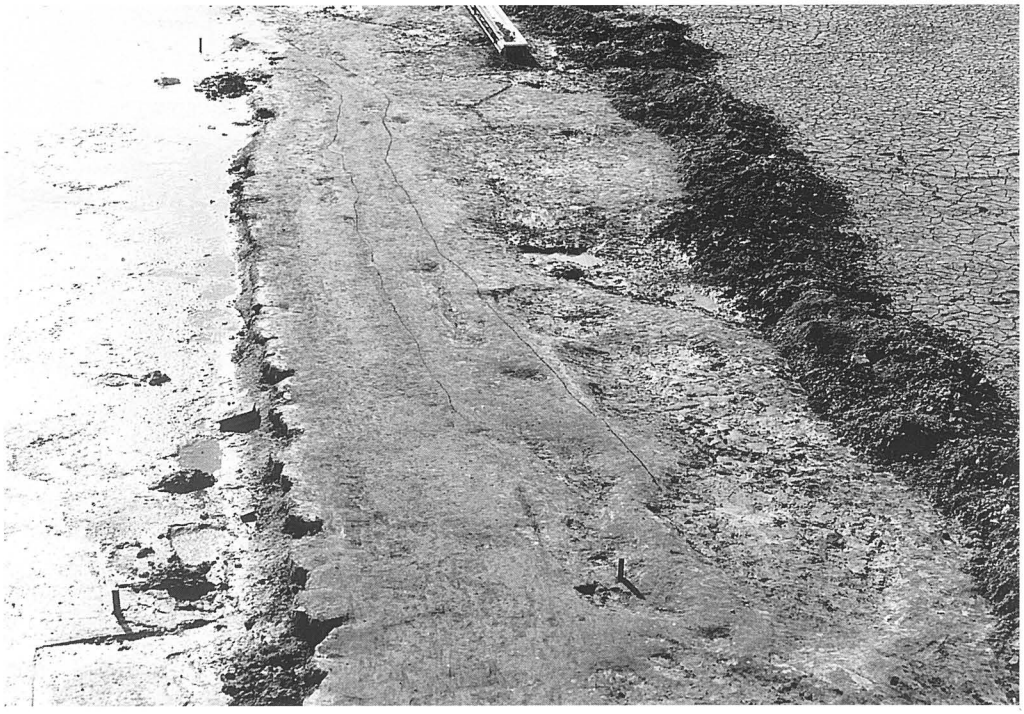
1　SD02 完掘状況

2　SD02 遺物出土状況(1)

1　SD02 遺物出土状況(2)



2　SD02 須恵器片出土状況



1　水田畦畔検出状況

2　水田畦畔完掘状況

1　水田畦畔脇水路の足跡検出状況

2　SD01 完掘状況

1　SR01 完掘状況

2　SR01 土層断面

第2部　考　察　編

第１章　考古学から見た高松平野

第１節　高松平野の発掘調査で検出された溝状遺構と推定条里地割との関係

丹羽佑一・山本英之

本書第１部第２章第２節に「弘福寺領讃岐国山田郡田図比定地周辺遺跡」として掲げた中から，Ｂ：条里関係遺構を含むもの，として分類した遺跡の個々の遺構について遺構地名表にまとめるとともに，高松平野条里遺構分布図として 10000 分の１の地図上に表した。

条里関連遺構として抽出したのは，主に調査報告書，概報等に条里坪界線として報告されているもので，報告書未刊の遺跡については概ね現地表面で読みとれる条里坪界線（現行の道路，水路，畦畔，地筆界等）に重複または平行する古代以降の溝状遺構（一部水田畦畔，道路遺構を含む）である。

条里遺構の判断は，直線を呈する形状と現行坪界線との平行関係と距離を基準とした。すなわち，現行坪界線と重複または一定距離（概ね 11m）の範囲内で平行関係を持つもの，現行坪界線から予想される条里坪中線に一致または一定距離（同上）で平行するものの２点であるが，これに該当しない遺構についても状況により適宜搭載している。例えば，空港跡地遺跡，香西南西打遺跡，鬼無藤井遺跡など発掘面積が大きく遺構方位や位置関係がより詳細に確認できるため，距離に関係なく現行坪界線との平行関係と直線形状のみの緩い条件設定によって関連遺構地名表に搭載している。

特に，空港跡地遺跡については現地割が条里に沿っていないことから，周辺部の地表面条里を延長した坪界想定線を条里遺構抽出の基準としたが，空港跡地南部の西三谷付近では陸軍飛行場接収に伴う異方向地割と丘陵裾部が近接していて良好な表層条里地割を設定し得ない。この結果，条方向については現市道多肥林線に一致する山田郡７条 10 里１・２坪界を基準として概ね 110m の間隔で東西に割り振ることで坪界線を復原した。したがって坪界想定線が現況の地割によらない不確定なものであることを考慮して，方向が一致していれば坪界想定線から 11m 以上離れた遺構であっても条里関連遺構として抽出したというのがもう一つの理由である。この結果，空港跡地遺跡をはじめ数箇所では条里坪界線というよりもむしろ１町方格内の細区画の溝状遺構も拾っている。

抽出条里遺構の延長距離，幅深さの数値に関しては，できるだけ調査報告書等に公式に記載された数値を用いた。本表作成のために新規に計測した数値については(　)書きにて表記した。なお，「現況坪界線との隔たり」の数値はすべて本表作成にあたって計測したものである。遺構番号についてもできるだけ報告済み文献の記述を尊重した。以下，関連遺構地名表については表末凡例を参照いただきたい。

遺構分布地図については，香川県国土基本図 5000 分の１を基図とし，最終的に 10000 分の１に縮小編集して平野部全域をカバーした。空港跡地遺跡については遺構密度が濃密であったことから部分拡大図を作成した。部分拡大図は『空港跡地遺跡平成５年度発掘調査概報』付図（1500 分の 1）を原図として 1000 分の１基図を調製し，2500 分の１に仕上げた。香西南西打遺跡，鬼無藤井遺跡については，関連遺構地名表には網羅したものの，整理作業と本書紙幅の事情で遺構分布図の作成にまでいたらなかった。

分布図中の遺構の表記は，古代（8 ～ 12 世紀），中世（13 ～ 16 世紀），近世・近現代（17 世紀以降）の３時期に区分したうえで線種・色分け・分版によって識別した。これも詳細に関しては図中凡例を参照いただきたい。

第 25 表　高松平野の条里遺構一覧表

1　空港跡地遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD02	Ⅰ-1,3区	(W 10°N)	山 8 条 10 里 2 坪中線	中線想定線から 11m 南	80	40	80		8 末～9 初	(3)	
SD03	Ⅰ-3,4,6区	N10°E	山 8 条 10 里 2,11 坪中線	中線想定線上	270	50	62	須恵器杯身，杯蓋	8 末～9 初	中央部で 5m のｸﾗﾝｸ (3)	
SDc01	Ⅱ-6区	(N7°E)	山 8 条 10 里 11･12 坪界	坪界道路から 8m 東	190	36	24	弥生後期土器片（多数），須恵器壷・杯，フイゴ羽口，移動竈	弥生後期	(1)	
SDc38	Ⅱ-4区	(N12°E)	山 7 条 10 里 17 坪中線	中線想定線から西 9m	85	21	8.5	土師器杯・椀・土鍋，須恵器杯・甕，移動式竈，彩釉陶器	9 末～10 前	(1)	
SDc39	Ⅱ-4区	(N12°E)	山 7 条 10 里 17 坪中線	中線想定線から西 9m	50	8	5.7			(1)	
SD06	Ⅱ-2区	(W8°N)	山 7 条 10 里 16,21 坪界	坪界想定線から南 5m	100		10		(8 末～9 初)	(3)	
SD08	Ⅲ-10,35 39,40区	(N10°E)	山 7 条 10 里 12,13 坪中線	中線想定線から東 5m	(500)	－	(115)	須恵器椀・甕，黒色土器，土師器脚台付皿・杯・釜	11 後	SD46 と重複，SD46 に先行 (4)	
SD09	Ⅰ-1,2,5,7区	(N15°E)	山 8 条 10 里 2･3 坪界	坪界想定線から東 6 ～ 12.5m	(100)	－	(124)		17 ～ 19	下層より 13 世紀遺物 (3)	
SD10 東	Ⅲ-8区	(N10°E)	山 7 条 10 里 14 坪中線	中線想定線から東 17m	(400)	－	(45)		13 前	館跡方格溝（東界）(3)	
SD10 西	Ⅲ-8,1区	(N10°E)	山 7 条 10 里 15 坪中線	中線想定線から東 7m	(400)	－	(43)		13 前	館跡方格溝（西界）(3)	
SD10 南	Ⅲ-1,2区	(W10°N)	山 7 条 10 里 14,15 坪中線	中線想定線から北 12m	(250)	－	(122)		13 前	館跡方格溝（南界）(3)	
SD11	Ⅲ-2区	(N10°E)	山 7 条 10 里 22 坪中線	中線想定線から東 8m						SD10 に先行 (3)	
SD12 東	Ⅲ-2区	(N10°E)	山 7 条 10 里 22 坪中線	中線想定線から東 8m	380	60	(21)	漆器片，呪符木簡	13	SD10 より後出 (3)	
SD12 南	Ⅲ-2区	(W12°N)	山 7 条 10 里 15･22 坪界	中線想定線から北 23m	380	60	(16)				
SD13	Ⅲ-1,2,37区	(W13°N)	山 7 条 10 里 14･23 坪界 山 7 条 10 里 15･22 坪界	中線想定線から北 9m	60	8	(125)		12 ～ 16	SD14 に先行 (3)	
SD14	Ⅲ-7,37区	(W13°N)	山 7 条 10 里 14,23 坪界 山 7 条 10 里 15,22 坪界	坪界想定線から北 9m	66	24	(85)	土師器擂鉢片（混入か）	14	SD13 より後出 (4)	
SD15	Ⅲ-7区	(W10°N)	山 7 条 10 里 14,23 坪界 山 7 条 10 里 15,22 坪界	坪界想定線から南 10m	400	40	(92)	瓦器椀片	13 前	(4)	
SD16	Ⅲ-7区	(N75°W)	山 7 条 10 里 14,23 坪界 山 7 条 10 里 15,22 坪界	坪界想定線から南 10m					13(一部 14 後～15 前	SD15 と重複，SD15 より後出 (3)	
SD17	Ⅲ-6,7区	(N11°E)	山 7 条 10 里 14,15 坪界 山 7 条 10 里 22,23 坪界	坪界想定線から東 18m	400	110	(40)	漆塗木製椀，呪符木簡	13(一部 14 後～15 前	(3)	
SD18	Ⅲ-3,4区	(W11°N)	山 7 条 10 里 23 坪中線	中線想定線から北 5m	(300)	－	(135)			館跡方格溝 (3)	
SD19	Ⅲ-10区	(N7°E)	山 7 条 10 里 24 坪中線	中線想定線から東 12m	(180)	－	(28)			(3)	
SD20	Ⅰ-3,4区	(N10°E)	山 8 条 10 里 2 坪中線	中線想定線から東 7m	(200)	－	(80)		17 ～ 19	(3)	
SD21	Ⅱ-2,17,20区	(N81°W)	山 7 条 10 里 16･21 坪界	坪界想定線から西 22m	(300)	－	(20)		17 ～ 19	(6)	

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD22	Ⅲ-1,2区	(N10°E)	山7条10里 15,22坪中線	中線想定線から東23m	(300)	—	(138)		17～19	(3)	
SD23	Ⅲ-6～8区	(N10°E)	山7条10里 14･15坪界 山7条10里 22･23坪界	坪界想定線から東15m	(200)	—	(30)		17～19	(3)	
SD24	Ⅲ-6～8区	(N10°E)	山7条10里 14･15坪界 山7条10里 22･23坪界	坪界想定線から東20m	(200)	—	(100)		17～19	(3)	
SD25東	Ⅲ-4,33,45区	(N16°E)	山7条10里 23,26坪中線	中線想定線から西17m	(300)	—	(75)		17～19	(3)	
SD25南	Ⅲ-4,33,45区	(S76°E)	山7条10里 23坪中線	中線想定線上	(300)	—	(25)		17～19	(3)	
SD26･57 SDj01	Ⅲ-3,6,8 34,38,47区	N10°E	山7条10里 14,23坪中線	中線想定線から東20m	550	76	(185)	瓦，磁器片	19～20初	S19年埋没 (4･J)	
SDc84	Ⅱ-8区	(N60°W)	山8条10里1坪中線	中線想定線上	500	79	125	土師器皿・土鍋・擂鉢,唐津陶器，青磁	17～19	(I)	
SDc85	Ⅱ-8･14区	(N60°W)	山8条10里1坪中線	中線想定線から北3m	110	15	18	土師器土鍋・移動カマド	17～19	(I)	
SD45	Ⅲ-35,10 15～18区	(N10°E)	山7条10里 11,12坪 13,14坪界	坪界想定線から東25m	100	30	155	須恵器杯，平瓶	7～8前	(4)	
SD46	Ⅲ-10,15 16,19,20 35,39,40	(N10°E)	山7条10里 12,13坪中線	中線想定線から東5m	(200)	—	(195)	須恵器椀，甕，黒色土器，土師器脚台付皿・杯・釜	11後	SD08と重複，SD08より後出 (4)	
SD47	Ⅲ-35,39	(N10°E)	山7条10里 12,13坪中線	中線想定線から東5m	(100)	—	(18)			(4)	
SD49	Ⅰ-14区	(W24°N)	山9条5里 36坪中線	中線想定線から南4m	40	10	(17)		14～16	SD50と平行 (4)	
SD50	Ⅰ-14区	(W24°N)	山9条5里 36坪中線	中線想定線上	70	10	(20)		14～16	SD49と平行 (4)	
SD51	Ⅰ-16区	(N8°E)	山9条5里 25坪中線	中線想定線から西24m	220	40	(8)		14～16	25坪のほぼ三分線 (4)	
SD52	Ⅰ-16区	(N11°E)	山9条5里 25坪中線	中線想定線から東17m	80	30	(8)	備前擂鉢片	14～16	25坪のほぼ三分線 (4)	
SD53	Ⅰ-16区	(N6°E)	山8条9里29～32坪界交点	坪界想定線から東29m 坪界想定線から北8m	200	60	(8)	瓦質土器，土師質土器，白磁椀等	13～14	(4)	
SD54	Ⅲ-3,34,47区	(N10°E)	山7条10里 23･26坪中線	中線想定線から東17m	180	20	(64)	土師器皿・椀・杯，黒色土器，須恵器椀・こね鉢，白磁片	12後～13	(3,4,5)	
SD58･60	Ⅲ-10,16 19,20,35 39,40区	(N11°E)	山7条10里 13,24坪中線	中線想定線から東12m	260	70	(195)	備前擂鉢，瓦，土師質甕	19～20初	S19年埋没 (4)	
SD59	Ⅲ-15区	(S80°E)	山7条10里 14,15坪中線	中線想定線から北10m	140	70	(140)	広東椀片	19	S19年埋没 (4)	
SD66	Ⅱ-18,19区	N12°E	山7条10里 9･16坪中線	中線想定線から西8m	60	30	(67)	土師器杯・足釜・鍋，須恵器こね鉢等	12	(5)	

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD67	II-17,20区	(N11°E)	山7条10里15･16坪中線	坪界想定線から西23m	(100)	－	(54)		9～16	(5)	
SD71	II-19区	(W11°N)	坪内区画溝		30～50	10			9～12	(5)	
SD72		(W11°N)								(5)	
SD73		(W11°N)								(5)	
SD74		(W11°N)								(5)	
SD75		(N12°E)								(5)	
SD76		(N12°E)								(5)	
SD77		(N12°E)								(5)	
SD78	II-17区	(S76°E)	山7条10里10･15坪界	坪界想定線から北21m	220	－	8		18～19	(5)	
SD89	II-24区	(N75°W)	坪内区画溝		(100)	－	(7.5)		15後～16後	(6)	
SD90		N8°E			220	35	(7.5)			(6)	
SD91		(N8°E)			(100)	－	(6)			(6)	
SD92		E9°S			220	35	(16.5)	備前焼皿，鉄滓，石柱状石製品		(6)	
SD93		(N18°E)			(40)	－	(15)			(6)	
SD94		(N18°E)			(50)	－	(15)			(6)	
SD95西	II-25区		坪内区画溝		(30)	－	(7.5)		15～16	(6)	
SD95南					(20)	－	(3.5)		15～16	(6)	
SD96					(30)	－	(4.8)		15～16	SD97と対応 (6)	
SD97		N5.5°E			(70)	－	(16)	土師質土器皿，杯，羽釜	15～16	SD96と対応 (6)	
SD101	II-21,22 24,25区	(S80°E)	山7条10里14,15坪中線	中線想定線から北10m	140	70	(140)	広東椀片	17～	S19年埋没 (6)	
SD102	II-2,25区	(N18°E)	山7条10里21･22坪界	坪界想定線から西25m	(90)	－	(15)		17～	S19年埋没 (6)	
SDc50	II-5区	(N10°E)	山7条10里18坪中線	中線想定線から西15m	200	96	23	土師器杯・椀・土鍋・小型器台，黒色土器椀，瓦器椀	11・12	(1)	
SDc72	II-8,14区	(N20°E)	山8条10里1坪中線	中線想定線から西20m	315	41	13	土師器土鍋・土釜，備前焼擂鉢，龍泉系青磁碗	14中～15中	(1)	
SDc73	II-9区	(N15°E)	山8条10里8坪中線	中線想定線から西8m	300	60	13	土師器土鍋・土釜・皿・擂鉢，青磁碗，丸瓦	14中～15中	(1)	
SDc77	II-5区	(N5°E)	山7条10里7坪 山8条10里12坪中線	条界想定線から西9m	140	80	6	土師器土鍋・土釜・皿・擂鉢，唐津陶器皿，備前焼甕	15中～16中	(1)	
SDc82	II-12区	(N25°E)	山7条10里18坪 山8条10里13坪中線	ほぼ条界線上	235	37	3.5	備前焼擂鉢，唐津陶器皿，ふいご羽口，丸瓦	15中～16中	(1)	

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SDc83	II-5区	(N5°E)	山7条10里7坪 山8条10里12坪中線	条界想定線から西5m	410	74	28	土師器土鍋・土釜・擂鉢，唐津陶器皿・椀，備前焼擂鉢	15中～16中	(I)	
SDc85	II-8区	(N70°W)	山7条10里1坪界	中線想定線から北5m	110	15	18	土師器土鍋・移動竈		(I)	
SDc86	II-9区	(N70°W)	山7条10里6･7坪界	坪界想定線から北20m	100	20	4	土師器，陶器，石臼	15中～16中	(I)	
SDc87	II-9区	(N15°E)	山8条10里8坪中線	中線想定線から東30m	350	54	15	土師器土釜・擂鉢	15中～16中	(I)	
SDc88	II-9,15区	(N70°W)	山7条10里6･7坪界	条界想定線から北15m	140	7	21	土師器土鍋・土釜	15中～16中	(I)	
SDc96	II-14区	(W)	山7条10里6･7坪界	条界想定線から南13m	100	26	9.5	土師器土鍋，備前焼甕・擂鉢，瓦，ふいご羽口	15中～16中	(I)	
SDc101	II-10区	(N4°E)	山8条9里8･9坪界	条界想定線から西19m	190	20	7	染付碗，白磁碗，備前焼擂鉢，甕	17～19	(I)	
SDc103	II-9区	(N70°W)	山7条9里33坪中線	中線想定線から北7m	145	17	23	土師器擂鉢，陶器貯蔵容器	17～19	(I)	
SDc108	II-14区	(N15°E)	山8条10里1坪中線	中線想定線から西15m	165	26	4.3	土師器土鍋・鉢・擂鉢，備前焼擂鉢，染付，青磁碗	17～19	(I)	
SDe09	II-7区	N10.8°E		条界想定線から西11m	130	40	40	肥前系陶胎染付	18	(II)	
SDe10	II-7区	N10°E	山7条10里28･29坪界	条界想定線から西9m	430	90	30	緑釉陶器椀，肥前系陶器広東椀	19	(II)	
SDe15	II-7区	N81°W	山7条10里21坪中線	中線想定線から南2m	28	4	11		17～	(II)	
SDe16	II-7区	N82.9°W	山7条10里21坪中線	中線想定線から南5m	44	18	3.5		17～	(II)	
SDe36	II-13区	N11°E	山7条10里27･28坪界	坪界想定線から西30m	250	105				(II)	
SDe144	III-41,43区	N3.5°E	山7条10里26･27坪界	坪界想定線から西30m	350	70	32	瀬戸美濃系灰釉陶器，信楽京焼風陶器椀	19～20	(II)	
SDi26西	III-12区	(N10°W)	山7条10里30坪中線	中線想定線上	60	10	1.6	土師器羽釜			
SDi26南	III-12区	(N79°W)	山7条10里30坪中線	中線想定線から南10m	60	10	23.4		12	(III)	
SDi27	III-12区	(N75°W)	山7条10里30坪中線	中線想定線から南5m	80	20	13		9～14前	(III)	
SDi29	III-51区	(N10°E)	山6条10里19坪 山7条10里24坪界	坪界想定線から西11m	60	10	9	土師器羽釜・小皿	9～14前	(III)	
SDi30	III-51区	(N15°E)	山6条10里19坪 山7条10里24坪界	坪界想定線から西8m	80	5	4		9～14前	(III)	
SDi31	III-52区	(N10°E)	山6条10里38坪中線	中線想定線から西10m	20	5	6.6		9～14前	(III)	
SDi32	III-52区	(N85°W)	山6条10里19･30坪界	坪界想定線から南5m	40	10	4	土師器椀	9～14前	(III)	
SDi33	III-52区	(N80°W)	山6条10里19･30坪界	坪界想定線から南3m	30	5	3.5		9～14前	(III)	
SDi34	III-52区	(N)	山6条10里19坪中線	中線想定線から西8m	30	10	6.5			(III)	
SDi37	III-30区	(N12°E)	山6条10里19坪 山7条10里24坪界	坪界想定線から西20m	80	10	11	土師器杯・小皿，中国製白磁碗・青磁片，須恵器杯・碗	12後	(III)	
SDi38	III-21,24区	(N15°E)	山6条10里19坪中線	中線想定線上	60	15	18	須恵器こね鉢	12末～13初	(III)	

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SDi39	III-28,29区	(N12°E)	山6条10里19坪 山7条10里24坪界	坪界想定線から東16m	120	15	46		9～13前	(III)	
SDi41	III-12,21,24,26,52区	(N10°E)	山6条10里19坪中線	中線想定線から西5m	450	90	130	肥前磁器染付皿・染付鉢・染付瓶・染付段重，瀬戸美濃磁器染付皿・染付子杯，肥前陶器鉢・灰釉皿・鉄釉皿，信楽系陶器皿等	20	(III)	
SDi42	III-23,26区	(N80°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線から南5m	240	90	50	肥前磁器染付皿，肥前系磁器染付皿・染付碗，肥前青磁鉢，瀬戸美濃陶器皿，信楽陶器椀，大谷焼鉢	20	(III)	
SDi43	III-25,28区	(N80°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線から南5m	170	50	33	肥前磁器染付皿，瀬戸美濃陶器染付碗，明石焼擂鉢，備前焼擂鉢等	20	(III)	
SDi44	III-30区	(N80°W)	山6条10里24坪中線	中線想定線上	60	40		肥前系磁器染付碗，瀬戸美濃陶器皿	20	(III)	
SDi45	III-24～28区	(N10°E)	山6条10里19坪中線	中線想定線から西20m	50	10	43			(III)	
SDi46	III-25,28,29区	(N10°E)	山6条10里19坪中線	中線想定線から西20m	80	20	18	肥前磁器染付皿・染付碗，大谷焼徳利，信楽陶器徳利等	19	(III)	
SDi47東	III-29区	(N10°E)	山6条10里19坪中線	中線想定線から西20m	50	15	(12)		19～	(III)	
SDi47南	III-29区	(N80°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線から南18m	50	15	(5)		19～	(III)	
SDi49	III-32区	(N10°E)	山6条10里19坪 山7条10里24坪界	坪界想定線から東2m	60	10	7	備前焼擂鉢，瀬戸美濃陶器片等	18～	(III)	
SDi53西	III-24,25区	(N10°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線上	60	10	(48)		17～	(III)	
SDi53南	III-25,23区	(N80°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線から南13m	60	10	(24)		17～	(III)	
SDi54	III-23区	(N10°E)	山6条10里19坪中線	中線想定線から東22m	40	30	2	瀬戸美濃陶器染付椀	19前	(III)	
SDi55	III-23区	(N10°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線から東24m	80	20	15	土師質土器焙烙	18	(III)	
SZi01	III-25区	(N80°W)	山6条10里19坪中線	中線想定線から南5m	190	高 20	27.5			SDi42北側に併設(III)	
SZi02	III-22区	(N10°E)	山6条10里19･20坪界	坪界想定線から西17m	130	高 10	8			SZi03の東15m (III)	
SZi03	III-22区	(N10°E)	山6条10里19坪中線	坪界想定線から東23m	60	高 0.5	6.3			SDi54,55の間 (III)	

※ 備考欄末尾の括弧書き数字は，遺構の掲載報告書を示す（(3)～(6)は，概報刊行年次，(I)～(III)は，報告書巻次を示す）。

3　多肥松林遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD16	II区	(N7°E)	香1条13里31･32坪界	ほぼ坪界線上	130	30	24	土師器片，須恵器片	12後		1
SD19	III区	(N6°E)	香1条13里32･33坪界	坪界想定線から西30m	40	5	8	土師器片，須恵器片，瓦器椀片	13後		2

5　松林遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD101	I～V区	(N81°W)	香1条14里7・18坪，2条14里12・13坪界	坪界想定線上	100	30	100	土師器皿・椀片，羽釜脚片，須恵器壺片	14	最下層9C遺物	1
SD102	IV区	(N8°E)	香14里1・2条界	坪界地筆界上	100	30	2.8	なし	14		2
SD103	II区	(N81°W)	香1条14里7坪，香1条14里18坪中線	坪界想定線上	100	10	1.6	なし	14		3
SD104	V区	(N81°W)	香2条14里12・13坪界	坪界想定線より南2m	40	10	6.0	土師器土鍋片	14		4
SD105	II・III区	(N81°W)	香1条14里7・18坪界	坪界想定線より南2m	160	50	約30.0	磁器碗・皿片，擂鉢口縁部片，須恵器椀片	18		5

6　日暮・松林遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD37	C区	(N81°W)	香1条14里9・4坪界	坪界里道より北3m	390	50	18.9	土師質椀・こね鉢・土鍋片，亀山焼片，須恵器短頸壷片	13～16		1
SD38	C区	(N81°W)	香1条14里9・16坪界	坪界里道上	(50)		約15.0	土師器片，土師質土器片，染付碗	17～19	北半大部分が調査区外	2
SD51	D区	(N80°W)	香1条13･14里界	坪界地筆界上	約200	3.5	約11.0	瓦器椀片，土師質椀・土鍋片，染付椀片	17～19		3

7　一角遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01東		(N9°E)	山8条10里10坪中線	中線想定線から東15m	(170)	(40)	(41)		20		1
SD01南		(N77°W)	山8条10里10坪中線	中線想定線上	(170)	(40)	(22.5)		20		2

8　宮西一角遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01		(N70°W)	山8条10里6・7坪界	坪界想定線から南25m	130		4		20		1
SD02		(N2°W)	山8条10里7・8坪界	坪界想定線から東7m	130		2.4		20		2
SD03		(N75°W)	山8条10里8・17坪界	坪界想定線上	260		5.2		14後半		3
SD04南		(N75°W)	山8条10里8・17坪界	坪界想定線から北5m	120		5.2	土師皿・土鍋片	14後半		4
SD04東		(N5°W)	山8条10里17坪界中線	中線想定線から西15m	130		2.8		14後半		5
SD05		(N28°E)	山8条10里17坪界中線	中線想定線から西5m	240		3.6		20		6

8　宮西一角遺跡（つづき）

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD06		(N80°W)	山8条10里8・17坪界	坪界想定線から北20m	130		6.4		20		7
SD07		(N11°W)			460		2.4		20		8
SD08		(N11°W)			460		2.4		20		9
SD09		(N5°E)	山8条10里9坪中線	坪界想定線から西17.5m	130		2.4		17～19		10
SD10		(N79°W)	山8条10里4・9坪界	中線想定線から北10m	180		5.2		17～19		11
SD11		(N2°W)	山8条10里9・10坪界	坪界想定線から西10m	180		2.4		17～19		12

10　空港跡地遺跡（亀の町II）

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01		(N20°E)	山6条10里31坪，山6条11里6坪中線	ほぼ中線想定線上	50	5	30.0	なし	18以降		1
SD02		(N63°W)	山6条10里31坪，山6条11里6坪界	坪界地筆界より北4m	40	15	18.0	なし	12後？		2
SD03		(N63°W)	山6条10里31坪，山6条11里6坪界	坪界地筆界上	140	20	19.6	瓦質土器椀，瓦器椀，黒色土器椀，須恵器杯身	12後	SD02と道路側溝を形成	3
SD04		(N63°W)	山6条10里31坪，山6条11里6坪界	坪界地筆界より南5m	330	35	22.0	瀬戸美濃椀，擂鉢片	18後		4

12　上天神遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD02	4区	(N10°E)	香4条16里14・15坪界	坪界水路より東6m	210	20	35.0	須恵器杯身・杯蓋片，弥生土器	8～12	SD05の東6m地点	1
SD03	4区	(N15°E)	香4条16里14・15坪界	坪界水路より東10m	60	15	11.2	須恵器杯身片	11・12	SD02の東4m地点	2
SD04	4区	(N78°W)	香4条16里11・14坪界	坪界溜池堤防に重複	110	15	84.0	須恵器杯片，土師器杯片，亀山焼甕片，瓦器椀片	8～10 13～14	2時期の掘り直し	3
SD05	4区	(N10°E)	香4条16里14・15坪界	坪界水路に重複	550	不明	30.0	陶磁器細片	18		4

14　蛙股遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	2区	(N10°E)	香2条16里16坪中線	坪界道路より西23m	250	28	13.0	須恵器杯蓋・身片，土師器杯片	11		1
畦畔	2区	(N10°E)	香2条16里16坪中線	坪界道路より西19m	150	(15)	(15m)		11～12	現坪界の西23m地点	2

17　井手東I遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01		(N10°E)	香1条16里11・12坪界	坪界水路より西5.6m	215	34	35.0	須恵器杯・杯蓋・皿・椀片，土師器土釜支脚	12後半		1

18　さこ・長池II遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	1区	(N8°E)	山9条12里12坪，香1条16里12坪界	坪界水路(旧郡界線)と重複	65	15	24.0	なし	8～12？		1
SD02	1区	(N10°E)	山9条 7里12坪，香1条16里12坪界	坪界水路(旧郡界線)より東7m	70	10	36.5	なし	8～12？		2

19　さこ・長池遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	3区	(N7°E)	山8条12里7・8坪界	坪界里道より東6m	20	5	6.6	なし	7～9？		1
SD02	3区	(N7°E)	山8条12里7・8坪界	坪界里道より東12.2m	―	5	15.8	なし	7～9？		2
SD03	3区	(N10°E)	山8条12里7・8坪界	坪界里道より東26.5m	―	10	19.0	なし	8～12？		3
SD12	2区	(N11°E)	山8条12里 9・10坪界	坪界地筆界と重複	(340)	25	10.5	なし	17以降		4

20　さこ・松ノ木遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	2区	(N16°E)	山8条12里10・11坪界	坪界地筆界より東16m	280	37	19.0	なし	13～14		1
SD12	2区	(N8°E)	山8条12里10・11坪界	坪界地筆界より東5m	25	10	4.0	染付碗片，青磁碗片	18以降		2

21　林・坊城遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD07	D2区	N18°E	山7条12里9坪中線	坪界地筆界より東48m	30	10	(37.5)	須恵器壷底部片	8～12	南半部は東に湾曲	1
SD08	D2,3区	(N78°W)	山7条12里9坪中線	坪界道路より南57m	70	15	(20.2)	土師器細片	8～12		2
SD09	D2,3区	(N16°E)	山7条12里9坪中線	坪界地筆界より東45m	80	10	(3.6)	土師器細片，須恵器細片	8～12		3
SD13西	F2区	N19°E	山7条12里11坪中線	坪界地筆界より東35.7m	70	10	(21.5)	土師質土器片	13～16		4
SD13南		N71°W	山7条12里11坪中線	坪界道路より南60.9m	70	10	(13.6)				5
SD16	G2,3区	(N19°E)	山7条12里12坪中線	坪界地筆界より東50,2m	(113)	25	(20.0)	土師器杯片・底部片，須恵器杯片	13～16		6

25　天満宮西遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD04	11区	(N80°W)	香1条18里16・21坪界	坪界道路より北10m	70	9	15.5		不明		1
無番	10区	(N79°W)	香1条18里21坪中線	坪界道路より北30m	180	11.3	16.0		17～19		2
無番	9区	(N80°W)	香1条18里21坪中線	坪界道路より北49m	65	8	16.0		17～19		3

26　松縄下所遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD03	1,2区	(N9°E)	香1条17里28,21,16・香1条17里27,22,15坪界	坪界道路より西14m	(180)	(45)	(267.4)		7後～8		1
SD04西	1区	(N9°E)	香1条17里28,21・香1条17里27,22坪界	坪界道路より西16m	(100)	(25)	(106.0)		7後～8		2
SD04南		(N82°W)	香1条17里21坪中線	中線想定線より北18.5	(80)	(15)	(5.6)				3
SD05西	1,2区	(N9°E)	香1条17里21,16・香1条17里22,15坪界	坪界道路より西16m	(120)	(35)	(138.0)		7後～8		4
SD05北		(N87°W)	香1条17里21坪中線	中線想定線より北16m	(80)	(20)	(4.4)				5
SD06	1区	(N6°E)	香1条17里27・28坪界	坪界道路より西7m	(110)	(22)	(34.6)		7後～8		6
SD07-1	1区	(N7°E)	香1条17里21,22坪界	坪界道路より西17m	(110)	(10)	(42.0)		7後～8		7
SD07-2	1区	(N13°E)	香1条17里21・28坪界	坪界道路より西13m	(70)	(20)	(16.6)		7後～8		8
SD07-2		(N75°W)	香1条17里21・28坪界	坪界道路より南21m	(80)	(20)	(7.0)				9
SD09	1区	(N80°W)	香1条17里21・28坪界	中線想定線より北16.5	(120)	(30)	(5.0)		7後～8		10
SD10	1区	(N83°W)	香1条17里21・28坪界	中線想定線より北19.5	(100)	(30)	(5.4)		7後～8		11
SD21	1区	(N77°W)	香1条17里21・28坪界	坪界道路より北6m	(50)	(10)	(4.0)		7後～8		12
SD29	1区	(N77°W)	香1条17里16・21坪界	坪界道路より北22m	(70)	(10)	(6.4)		7後～8		13
SD30	1区	(N80°W)	香1条17里16・21坪界	坪界道路より北20m	(70)	(15)	(6.3)		7後～8		14
SD33	1区	(N69°W)	香1条17里16・21坪界	坪界道路より南19m	(70)	(12)	(12.0)		7後～8		15
SD34	1区	(N80°W)	香1条17里16・21坪界	坪界道路より北22m	(120)	(30)	(5.6)		7後～8		16
SD35	1区	(N80°W)	香1条17里16・21坪界	坪界道路より北20m	(40)	(5)	(3.6)		7後～8		17
SD36	2区	(N77°W)	香1条17里16坪中線	中線想定線より北24m	(80)	(10)	(4.0)		7後～8		18
SD37	2区	(N77°W)	香1条17里16坪中線	中線想定線より北24.5	(120)	(35)	(6.0)		7後～8		19
SD43	2区	(N77°W)	香1条17里16坪中線	中線想定線より北24.5	(120)	(25)	(6.0)		7後～8		20

29　キモンドー遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD12東	3区	(N9°E)	香2条17里4・9坪界	坪界里道・堤防と重複	(3.0～)	－	(105)		16後埋没		1
SD12南		(N81°W)	香2条17里9・10坪界	坪界想定線と重複	(4.0)	(160)	(16)				

30　凹原遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅(cm)	残存深度(cm)	検出延長(m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD12	3区	(N74°W)	香1条14里28・33坪界	坪界道路より北9m	100	20	17.0		不明	西半がやや北へ蛇行	1
SD13	3区	(N81°W)	香1条14里28・33坪界	坪界道路より北10m	100	10	17.0		不明		2

3 2　中間西井坪遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD09	2区	(N20°E)	香11条12里23坪中線	中線想定線より東24m	(40)		(6)		12～16		1
(SD10)	2区	(N6°E)	香11条12里23坪中線	中線想定線上	(160)		(3.6)	須恵器鉢底部片	12～16		2
(SD16)	5区	(N10°E)	香11条12里23坪中線	中線想定線より東34m	(160)		(6)		12～16		3
(SD18)	5区	(N80°W)	香11条12里23坪中線	坪界道路より北20m	(40)		(7.2)		12～16		4

3 3　正箱遺跡・薬王寺遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	Ⅰ区	N9°E	香10条12里31坪中線	中線想定線より西4m	820	30	31	土師器小皿，須恵器杯蓋・杯	11	8世紀に掘削	1
SD02	Ⅰ区	N80°W	香10条12里30･31坪界	坪界地筆界より北7m	870	20	25	土師器小皿，土師器杯・甕，須恵器壷片，鉄鏃	11	8世紀に掘削 SD03と同一	2
SD03	Ⅰ区	N80°W	香10条12里30･31坪界	坪界地筆界より北2m	200	20	16	須恵器杯・底部片	11	8世紀に掘削 SD02と同一	3
SD04	Ⅰ区	N80°W	香10条12里30･31坪界	坪界地筆界より北5.5m	100	20	25	土師器甕，須恵器杯蓋	8		4
SD09	Ⅱ区	N80°W	香10条12里31坪中線	中線想定線上	70	20	32.2	土師器小皿，須恵器杯蓋・杯身・円面硯等	8		5
SD10	Ⅱ区	N80°W	香10条12里31坪中線	中線想定線上	160	40	10	土師器皿・把手付甕，須恵器杯蓋・杯身，瓦質土器椀	8		6
SD11	Ⅱ区	N2°E	香10条12里31坪中線	中線想定線上	80	20	25	土師器杯･把手付甕,須恵器杯,蛸壷	8		
SD12	Ⅱ区	N2°E	香10条12里31坪中線	中線想定線上	80	40	33	土師器甕・竈，須恵器杯	8		
SD19	Ⅰ・Ⅱ区	N22°E	香10条12里31坪中線	中線想定線より東10m	100	40	140.3	土師器小皿，須恵器杯蓋・杯身	12～16		7
SD20	Ⅰ・Ⅱ区	N22°E	香10条12里31坪中線	中線想定線より東7m	(110)	(18)	113	白磁椀，備前焼壷	17～		8
SD21	Ⅳ区	(N80°W)	香10条13里6･7坪界	坪界想定線上	160	20	5	瓦器椀	12～16		9
SD22	Ⅳ区	(N76°W)	香10条13里6･7坪界	坪界想定線上より北3m	140	20	5	瓦質土器椀	12～16		10
SD23	Ⅳ区	(N78°W)	香10条13里7坪中線	中線想定線より南15m	170	35	5	石臼片	17～		11
SD24	Ⅳ区	(N14°E)	香10条13里7坪中線	中線想定線より東7m	180	30	3.5	寛永通宝	17～		12

3 4　兀塚遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD02	Ⅵ区	N13°E	香9条12里14坪中線	坪界道路より東30m	420	60	(13.2)	瓦質土器椀，瓦器椀，白磁碗	13～14		1
SD10	Ⅰ区	N8°E	香8条12里17･18坪界	坪界道路より西22m	(40)	－	(13.2)	土師器細片	～16		2
SD15	Ⅴ区	(N10°E)	香9条12里13･14坪界	坪界想定線より西5m	(200)	－	(13.2)		18		3
SD25東	Ⅳ区	(N25°E)	香9条12里8･9条界	坪界地筆界と重複	(200)	－	(8)		17～		4
SD25南	Ⅳ区	(N72°W)	香9条12里12･13坪界	坪界道路より北16m	(200)	－	(35.2)		17～		5
SD1002	Ⅶ-2区	(N10°E)	香9条12里15坪中線	中線想定線上	(180)	－	(8)		13～14		6
SD1004	Ⅷ-1区	(N10°E)	香9条12里15･16坪界	坪界道路と重複	(80)	－	(6)		13～14	北端でNに湾曲	7
SD1006	Ⅷ-1区	(N64°W)	香9条12里9･16坪界	坪界道路より北21m	(80)	－	(9.6)		13～14		8
SD1007北	Ⅷ-1区	(N73°W)	香9条12里9･16坪界	坪界道路より北21m	(80)	－	(8)		13～14		9
SD1007西	Ⅷ-1区	(N3°E)	香9条12里15･16坪界	坪界道路より西8m	(60)	－	(8)		13～14		10
SD1011	Ⅷ-1区	(N17°E)	香9条12里15･16坪界	坪界道路より西18m	(100)	－	(13.2)		13～14		11
SD1015	Ⅷ-1区	(N70°W)	香9条12里9･16坪界	坪界道路より北15m	(160)	－	(18)		13～14		12
SD1019	Ⅷ-1区	(N82°W)	香9条12里9･16坪界	坪界道路より北15m	(60)	－	(9.6)		13～14		13
SD1029	Ⅴ-2区	(N81°W)	香9条12里11･14坪界	坪界道路より北15m	(180)	－	(16)		17～19		14

３５　鬼無藤井遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	Ⅰ区	(N75°W)	香10条17里30･31坪界	坪界道路より南1m	(130)	(50)	(4)		17～19		
SD03	Ⅰ区	(N21°E)	香10条17里30坪中線	中線想定線より東14m	(120)	(45)	(6)	焙烙，備前焼等	17～19		
SD04	Ⅰ区	(N79°W)	香10条17里30坪中線	中線想定線より北14m	(36)	(14)	(4)		8～16		
暗渠	Ⅰ区	(N10°E)	香10条17里30坪中線	中線想定線より東12m	(60)	(45)	(8)	備前焼擂鉢，土鍋，羽釜等	17～19		
SD01	Ⅲ-1区	(N12°E) (N78°W)	香10条18里8･9･16･17 坪交点	想定交点上	(480)	(40)	(5.2)	脚付土鍋等	12～19		
暗渠	Ⅲ-1区	(N75°W)	香10条18里8･17坪界	坪界道路より南32m	(50)	(20)	(4.8)	瓦，擂鉢等	17～19		
SD01	Ⅲ-2区	(N11°E)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東6m	(65)	(8)	(6)	土師質土釜	12～16		
SD02	Ⅲ-2区	(N7°W)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東24m	(60)	(10)	(5)		12～16		
SD03	Ⅲ-2,3区	(N3°E)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東26m	(60)	(20)	(5)		12～16		
SD01	Ⅲ-3区	(N70°W)	香10条18里16坪中線	中線想定線より北30m	(50)	(15)	(2.8)		11後		
SD01	Ⅳ区	(N7°E)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西25m	(117)	(25)	(1.3)		11後		
SD02	Ⅳ区	(N7°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西27m	(90)	(23)	(3.5)		11後		
SD03	Ⅳ区	(N5°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西29m	(62)	(16)	(6.4)		11後		
SD04	Ⅳ区	(N5°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西30m	(322)	(52)	(7.7)	黒色土器	11後		
SD05	Ⅳ区	(N5°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西32m	(19)	(4)	(3.7)		17～		
SD06	Ⅳ区	(N5°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西35m	(18)	(1)	(2.6)		17～		
SD07	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北26m	(56)	(10)	(2.1)		17～		
SD08	Ⅳ区	(N20°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西35m	(22)	(9)	(4.3)		17～		
SD09北	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北24m	(34)	(4)	(3.75)		～11後		
SD09西	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西36m	(34)	(4)	(3)		～11後		
SD10	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北20m	(87)	(7)	(6)		11後		
SD11	Ⅳ区	(N78°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北19m	(39)	(8)	(2.8)		11後		
SD13	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北17m	(25)	(6)	(3.6)		～11後		
SD14	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北17m	(21)	(6)	(5.3)		～11後		
SD15	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北16m	(16)	(4)	(5.2)		～11後		
SD17	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より東17m	(18)	(6)	(5)		11後		
SD18	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より東16m	(13)	(7)	(5)		～11後		
SD19	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より東15m	(13)	(6)	(2.8)		11後		
SD20	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北9m	(40)	(7)	(8.4)	黒色土器椀	11後		
SD21	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪	坪内区画溝	(23)	(6)	(4)		～11後		
SD22	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪	坪内区画溝	(28)	(10)	(0.8)		～11後		
SD23	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪	中線想定線より北6m	(20)	(4)	(3.6)		～11後		
SD24	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪	坪内区画溝	(22)	(8)	(6.5)		～11後		
SD25	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪	坪内区画溝	(23)	(6)	(2.5)		～11後		
SD26	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪	中線想定線より北4m	(44)	(7)	(5)		～11後		
SD27	Ⅳ区	(N80°W)	香10条18里21坪	中線想定線より南2m	(37)	(8)	(2)		17～		
SD28	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪	中線想定線より東7.5m	(30)	(8)	(6)		～11後		
SD29	Ⅳ区	(N10°E)	香10条18里21坪	坪内区画溝	(30)	(8)	(2)		11後		
SD01	Ⅳ－②区	(N5°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西25m	(340)	(49)	(8)	黒色土器椀，土師質甕	11後		
SD02	Ⅳ－②区	(N5°W)	香10条18里21･22坪界	坪界想定線より西19m	(120)	(30)	(12)		11後		
SD03	Ⅳ－②区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界想定線より南9m	(40)	(10)	(5)		12～16		

３５　鬼無藤井遺跡（つづき）

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	Ⅴ－①区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北23.7m	(74)	(18)	(2.7)		12～16		
SD02	Ⅴ－①区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北20m	(50)	(12)	(4.7)		12～16		
SD03	Ⅴ－①区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北11.2m	(64)	(14)	(7.6)		12～16		
SD04	Ⅴ－①区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北8.7m	(50)	(8)	(8.4)		12～16		
SD02	Ⅴ－②区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東7m	(44)	(5)	(6)		12～19		
SD03	Ⅴ－②区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東6m	(50)	(4)	(6.6)		12～19		
SD04	Ⅴ－②区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東4m	(34)	(5)	(6)		12～19		
SD02	Ⅵ区	(N10°E)	香10条18里8坪中線	中線想定線より東6m	(45)	(8)	(7.5)	亀山焼等	12～16		
SD03	Ⅵ区	(N10°E)	香10条18里8坪中線	中線想定線上	(2.5)	(3.8)	(5.2)		17～19		
SD04	Ⅵ区	(N80°W)	香10条18里8坪中線	中線想定線より北15m	(30)	(10)	(16.5)		12～16		
暗渠	Ⅵ区	(N10°E)	香10条18里8坪中線	中線想定線より東4m	(50)	(20)	(26)	播鉢，瓦，染付等	17～19		
暗渠	Ⅵ区	(N80°W)	香10条18里8坪中線	中線想定線より北24m	(30)	(20)	(15)		17～19		
SD01	Ⅶ区	(N10°E)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東5m	(245)	(60)	(35)		11後～19		
SD02	Ⅶ区	(N10°E)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東11m	(75)	(4)	(23)		14～16		
SD03	Ⅶ区	(N10°E)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東12m	(48)	(12)	(18)		14～16		
SD04	Ⅶ区	(N10°E)	香10条18里16･17坪界	坪界道路より東13m	(35)	(5)	(16)		14～16		
SD01	Ⅷ区	(N10°E)	香10条18里20･21坪界	坪界道路に重複	(170)	(37)	(22)		11後～16		
SD02	Ⅷ区	(N80°W)	香10条18里16･21坪界	坪界道路より北12m	(60)	(14)	(12.5)		19		
SD03	Ⅷ区	(N10°E)	香10条18里20･21坪界	坪界道路より東23m	(70)	(3)	(15)		8～16		
SD01	Ⅸ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西9m	(50)	(7)	(5)		8～16		
SD02南	Ⅸ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より南9m	(25)	(6)	(5.5)		8～16		
SD02西	Ⅸ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西22m	(25)	(6)	(2.5)		8～16		
暗渠 北	Ⅸ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より南20m	(30)	(10)	(6.2)		17～		
暗渠 東	Ⅸ区	(N)	香10条18里20･21坪界	坪界道路より東26m	(30)	(10)	(5)		17～		
暗渠	Ⅸ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西25m	(50)	(10)	(37.5)		17～		
SD08	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北25m	(10)	(2)	(2)		8～16		
SD09	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北26m	(22)	(4)	(2)		8～16		
SD10	Ⅹ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西3m	(16)	(4)	(3)		8～16		
SD11西	Ⅹ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北15m	(40)	(5)	(5)		8～16		
SD11北	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西8m	(40)	(5)	(7)	黒色土器	8～16		
SD12	Ⅹ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西3m	(20)	(6)	(10)		8～16		
SD13	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北21m	(70)	(2)	(3.2)		8～16		
SD14	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より南23m	(18)	(5)	(3.7)		8～16		
SD15	Ⅹ区	(N15°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より東5m	(94)	(14)	(20)	緑釉陶器，土師質羽釜，土鍋	8～16		
SD16	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より南23m	(32)	(4)	(2.5)		8～16		
SD18	Ⅹ区	(N15°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より東14m	(38)	(9)	(6)		8～16		
SD22	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より南23m	(18)	(4)	(2.5)		8～16		
暗渠 西	Ⅹ区	(N10°E)	香10条18里21坪中線	中線想定線より西14m	(40)	(16)	(30)		19		
暗渠 南	Ⅹ区	(N80°W)	香10条18里21坪中線	中線想定線より北7m	(40)	(16)	(10)		19		

３５　鬼無藤井遺跡（つづき）

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD02	ＸⅠ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より西21m	(100)	(6)	(3.7)		8～16		
SD05	ＸⅠ区	(N80°W)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より西24m	(240)	(24)	(16)	土師質甕，土錘	8～16		
SD10	ＸⅠ区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北12m	(200)	(46)	(10.2)		8～16		
SD11	ＸⅠ区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北9m	(80)	(26)	(15.7)		8～16		
SD13西	ＸⅠ区	(N15°E)	香10条18里28坪中線	中線想定線より東24m	(50)	(20)	(2.5)		8～16		
SD13北	ＸⅠ区	(N80°W)	香10条18里21･28坪界	坪界道路より北18m	(50)	(20)	(7.5)		8～16		
SD04	ＸⅡ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より西18m	(80)	(32)	(22.5)	土師質甕，土鍋	8～16		
SD05	ＸⅡ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より西21m	(100)	(52)	(20.5)	土師器杯	8～16		
SD06	ＸⅡ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より西25m	(70)	(26)	(15.5)		17～		
SD15	ＸⅡ区	(N80°W)	香10条18里28坪中線	中線想定線より南10m	(25)	(3)	(17.5)		8～16		
SD19	ＸⅡ区	(N10°E)	香10条18里28坪中線	中線想定線より東24m	(50)	(10)	(7.2)		17～		
SD20	ＸⅡ区	(N15°E)	香10条18里28坪中線	中線想定線より東25m	(20)	－	(4.5)		13～19		
SD04	ＸⅢ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東8m	(84)	(12)	(7.5)		13～19		
SD05	ＸⅢ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東6m	(30)	(4)	(6.7)		13～19		
SD06	ＸⅢ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東4.5m	(38)	(6)	(4)		13～19		
SD08	ＸⅢ区	(N10°E)	香10条18里27･28坪界	坪界道路より東1m	(44)	(18)	(10)		17～		

３６　西打遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	96-Ⅰ区	(N77°W)	香10条18里34坪中線	坪界道路より東1.2m	(200)	－	25)				1
SD41	96-Ⅰ区	(N80°W)	香10条18里34坪 香10条19里3坪界	坪界道路より北18m	(75)	－	(30.5)				2
SD55	96-Ⅰ区	(N12°E)	香10条18里34坪中線	中線想定線と重複	250	60	(40)				3
SD67	96-Ⅰ区	(N80°W)	香10条18里34坪中線	中線想定線より南5m	40	5	(28)				4
SD01	97-Ⅰ区	N15°E	香10条18里34･35坪界	坪界地筆界より西2m	240	80	19	青磁碗，土師器鉢	13後		5
SD02	97-Ⅰ区	(N15°E)	香10条18里34･35坪界	坪界地筆界より東1m	90	20	14		13後		6
SD03	Ⅱ区	(N10°E)	香10条19里2･3坪界	坪界道路より東2m	100	20	(62)		13後		7
SD04	Ⅱ区	(N13°E)	香10条19里2坪中線	中線想定線より西25m	150	10	(76)				8
SD06東	Ⅱ区	N9°E	香10条19里1･2坪界	坪界地筆界と重複	50	10	(32)	黒色土器碗，土師器小皿，土師質			9
SD06南	Ⅱ区	(N80°W)	香10条19里2坪中線	中線想定線より北25m	50	10	(36)	土釜	12中		10
SD08	Ⅱ区	(N80°W)	香10条19里2坪中線	中線想定線より北9m	150	20	(48)	黒色土器椀片	12		11
SD09	Ⅱ区	N9°E	香10条19里1･2坪界	坪界地筆界より東2m	160	20	42	土師質土釜片			12
SD10	Ⅱ区	(N10°E)	香10条19里1･2坪界	坪界地筆界より東4m	40	15	41	土師器杯・小皿片	12中		13
SD12	Ⅲ区	(N10°E)	香10条19里11坪中線	中線想定線より東3m	(60)	－	(32)				14
SD14	Ⅲ区	(N10°E)	香10条19里11･12坪界	坪界地筆界より西7m	(340)	－	(47)				15
SD15	Ⅲ区	(N12°E)	香10条19里11･12坪界	坪界地筆界と重複	(360)	－	(84)		12～16	上層18	16
SD16北	Ⅲ区	(N82°W)	香10条19里2･11坪界	坪界里道と重複	(80)	－	(44)				17
SD16西	Ⅲ区	(N15°E)	香10条19里11坪中線	中線想定線より東3m	(160)	－	(4.8)				18
SD17	Ⅳ区	(N13°E)	香10条19里25･26坪界	坪界地筆界と重複	200	60	(85)		14	上層18	19

3 7　香西南西打遺跡

遺構番号	調 査 区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里8･9坪界	坪界道路より東4m	(60)	(12)	(132.5)		12～13		
SD02	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里8･9坪界	坪界道路より東5m	(140)	(18)	(140)		12～13		
SD03	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里8･9坪界	坪界道路より東6m	(60)	(14)	(24)		12～13		
SD04	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より東8m	(54)	(20)	(21.4)		13～16		
SD05	Ⅰ区	(N80°W)	香10条19里4坪中線	中線想定線より北11m	(20)	(4)	(3.5)		17～		
SD07	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より東8m	(110)	(14)	(46)		12～13		
SD08	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より東5m	(100)	(14)	(35)		12～13		
SD10	Ⅰ区	(N10°E)	香10条19里8･9坪界	坪界道路より東3m	(30)	－	(12)		8～16		
SD01	Ⅱ区	(N10°E)	香10条19里32･33坪界	坪界道路より東9m	(92)	(7)	(9.5)		8～16		
SD02	Ⅱ区	(N10°E)	香10条19里32･33坪界	坪界道路より東17m	(23)	(5)	(20)		13～19		
SD01	Ⅲ区	(N80°W)	香10条19里16･21坪界	坪界道路より北6m	(65)	(30)	(9)		13～19		
SD02	Ⅲ区	(N80°W)	香10条19里16･21坪界	坪界道路より北17.5m	(63)	(70)	(10)		8～16		
SD03	Ⅲ区	(N20°E)	香10条19里28･29坪界	坪界道路より東6m	(31)	(9)	(10)		8～16		
SD04	Ⅲ区	(N10°E)	香10条19里28･29坪界	坪界道路より東5m	(74)	(11)	(11)		8～16		
SD05	Ⅲ区	(N80°W)	香10条19里28･33坪界	坪界道路より南27.5m	(34)	(4)	(99)		13～19		
SD02	Ⅳ区	(N80°W)	香10条19里9･16坪界	坪界道路より北25m	(42)	(8)	(10)		8～16		
SD03南	Ⅳ区	(N80°W)	香10条19里9･16坪界	坪界道路より北5m	(60)	(13)	(9)		8～16		
SD03西	Ⅳ区	(N10°E)	香10条19里16･17坪界	坪界道路より東5m	(60)	(13)	(20)		8～16		
SD04	Ⅳ区	(N80°W)	香10条19里9･16坪界	坪界道路より北5m	(400)	－	(10)		8～16		
SD02	Ⅴ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より西8.5m	(70)	(10)	(18)		8～16		
SD03	Ⅴ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より西3m	(43)	(5)	(12)		8～16		
SD04	Ⅴ区	(N50°W)	香10条18里33坪・香10条19里 4坪界	坪界道路より北18m	(62)	(16)	(92)		8～16		
SD05	Ⅴ区	(N80°W)	香10条18里33坪・香10条19里 4坪界	坪界道路より北25m	(80)	(10)	(73)		8～16		
SD06	Ⅴ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より西8m	(50)	(14)	(11.8)		8～16		
SD08	Ⅴ区	(N10°E)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より西4.8m	(80)	(15)	(15)		8～16		
SD09	Ⅴ区	(N80°W)	香10条18里33坪・香10条19里 4坪界	坪界道路より北20m	(64)	(17)	(8.5)		8～16		
SD10	Ⅴ区	(N80°W)	香10条18里33坪・香10条19里 4坪界	坪界道路より北22m	(22)	(8)	(5.2)		8～16		
SD11	Ⅴ区	(N50°W)	香10条19里4･5坪界	坪界道路より西5m	(45)	(12)	(8)		8～16		

3 8　筑城城跡

遺構番号	調 査 区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01		(N10°E)	香9条18里15･16坪界	坪界道路より西12m	(30)	(15)	(9.5)				1
SD02		(N10°E)	香9条18里15･16坪界	坪界道路より西11m	(40)	(10)	(5)				2
SD03		(N80°W)	香9条18里16坪中線	坪界道路より南8m	(40)	(10)	(5.5)				3
SD04東		(N10°E)	香9条18里15･16坪界	坪界道路より西16.5m	(70)	(25)	(12.5)				4
SD04北		(N80°W)	香9条18里16坪中線	坪界道路より南7.5m	(40)	(15)	(3.5)				5

39　香西南西打遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01 東			香10条20里16坪中線	中線想定線より東15m	(300)	(75)	(12)		16		1
SD01 南			香10条20里16･21坪界	坪界道路より南24m	(300)	(65)	(30)		16		2
SD01 西			香10条20里16坪中線	中線想定線より西15m	(500)	(40)	(12)		16		3

42　松並中所遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01 東	Ⅲ区		香5条17里30坪 香6条17里25坪界	坪界道路に重複	(150)	(18)	(34)	土師器椀・鉢・小皿，土鍋，瓦器椀・皿，須恵器甕，白磁等	12 後～13 初		1
SD01 南	Ⅲ区		香6条17里25坪中線	中線想定線より北8.5m	(150)	(18)	(7.2)				2

43　西ハゼ土居遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01 西	Ⅵ区	(N15°E)	香5条17里34･35坪界	坪界道路より東5m	(200)	(20)	(12)		17 初		1
SD01 南	Ⅵ区	(N74°w)	香5条17里35坪界 香5条18里2坪界	里界道路より南30 m	(170)	(10)	(32)		17 初	南接して道路敷	2
SD01 東	Ⅵ区	(N20°E)	香5条17里35坪中線	中線想定線より西18 m	(240)	(15)	(7.3)		17 初		3
SD02 北	Ⅵ区	(N75°w)	香5条17里35坪界	里界道路より南36 m	(240)	(55)	(20)	土師器鍋・擂鉢，青磁，瓦	16 後	北接して道路敷	4
SD02 東	Ⅵ区	(N15°w)	香5条17里35坪中線	中線想定線より西6 m	(330)	(45)	(4.5)		16 後		5
SD03 西	Ⅵ区	(N18°E)	香4条17里31坪界 香5条17里36坪界	坪界道路より西24 m	(140)	(10)	(7)		17 初		6
SD03 北	Ⅵ区	(N77°w)	香5条17里35坪界	里界道路より南32 m	(90)	(30)	(19)		17 初	北接して道路敷	7
SD03 東	Ⅵ区	(N18°E)	香4条17里31坪界 香5条17里36坪界	坪界道路より西4 m	(140)	(20)	(9.5)		17 初		8

44　木太中村遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD1001	1区	(N78°w)	山8条15里2･11坪界	坪界道路より南22 m	(500)	(60)	(23)		17 ～19		1
SD1004	1区	(N15°E)	山8条15里1･2坪界	坪界道路より西6 m	(250)	(45)	(20)		17 ～19		2
SD2001	2区	(N80°w)	山8条15里2･11坪界	坪界道路より北30 m	(580)	(80)	(16)		17 ～19		3
SD4001	4区	(N82°E)	山8条15里11･14坪界	坪界道路より南8 m	(170)	(60)	(14.3)		17 ～19		4

４９　川南西遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD01	WI拡張区	(N10°E)	山５条15里30坪中線	中線想定線より東15m	(110)	()	(10.5)				1
SD07	WI拡張区	(N10°E)	山５条15里30坪中線	中線想定線より東17m	(270)	()	(10)				2
SD08	WI拡張区	(N80°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南17m	(130)	()	(1.4)				3
SD10	WI･II区	(N10°E)	山５条15里30坪中線	中線想定線より東21m	(180)	()	(20)				4
SD11	WI･II区	(N79°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南3m	(30)	()	(27.5)				5
SD12北	WI･II区	(N81°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南3m	(80)	()	(20.5)				6
SD12東	WI･II区	(N3°E)	山５条15里29･30坪界	坪界想定線より西12m	(80)	()	(2.2)				7
SD13	WI･II区	(N82°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南5m	(70)	()	(9.5)				8
SD14	WI･II区	(N80°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南6m	(60)	()	(23)				9
SD15	WI･II区	(N79°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南6m	(30)	()	(8.5)				10
SD16	WI･II区	(N77°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南6m	(40)	()	(17)				11
SD17	WI･II区	(N80°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南9m	(50)	()	(12.5)				12
SD18	WI･II区	(N80°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南9m	(60)	()	(12.5)				13
SD19	WI･II区	(N78°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南9m	(30)	()	(8)			僅かに蛇行	14
SD20	WI･II区	(N78°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南9m	(30)	()	(8)			僅かに蛇行	15
SD24北	WI･II区	(N77°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より南5m	(110)	()	(21.5)				16
SD24東	WI･II区	(N13°E)	山５条15里19･30坪界	坪界想定線より西12m	(90)	()	(4.5)				17
SD25	WI･II区	(N10°W)	山５条15里29･30坪界	坪界想定線より西7m	(50)	()	(15.5)				18
SD26	WI･II区	(N5°W)	山５条15里29･30坪界	坪界想定線より西7m	(30)	()	(14.5)				19
SD27	WI･II区	(N4°W)	山５条15里30坪中線	坪界想定線より西17m	(50)	()	(10)				20
SD28	WI･II区	(N80°W)	山５条15里19･30坪界	中線想定線より北7m	(80)	()	(17)				21
SD30	WI･II区	(N8°W)	山５条15里29･30坪界	中線想定線上	(160)	()	(19)				22
SD31	WI･II区	(N8°W)	山５条15里29･30坪界	中線想定線より東1m	(40)	()	(19)				23
SD32	WI･II区	(N8°W)	山５条15里29･30坪界	中線想定線より東3.5m	(90)	()	(19)				24
SD33	WI･II区	(N8°W)	山５条15里29･30坪界	中線想定線より東4.5m	(20)	()	(19)				25
SD34	WI･II区	(N8°W)	山５条15里29･30坪界	中線想定線より東5m	(50)	()	(19)				26

５１　新田本村遺跡

遺構番号	調査区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅（cm）	残存深度（cm）	検出延長（m）	出土遺物等	時期	備考	図面番号
SD05南	I区	(E)	山４条16里14･23坪界		(120)	()	(30)		17～19		1
SD05東	I区	(N)	山４条16里23坪中線		(40)	(9)	(7.2)		17～19	違う時期の溝が切合ながら併走	2
SD06	I区	(N)	山４条16里23坪中線		(60)	(2)	(4.7)		17～19		3
SD10南	I区	(E)	山４条16里14･23坪界		(100)	(10)	(35.2)		17～19	違う時期の溝が切合ながら併走	4
SD10東	I区	(N)	山４条16里23坪中線		(60)	(15)	(9.7)		17～19	違う時期の溝が切合ながら併走	5
SD11	I区	(N)	山４条16里23坪中線		(80)	(22)	(4.3)		17～19		6
SD106	I区	(E)	山４条16里15坪中線		(450)	(70)	(45)		13		7
SD3002	III区	(E)	山４条16里14･23坪界		(300)	(140)	(17)		13		8

5 2　小山南谷遺跡

遺構番号	調 査 区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出 土 遺 物 等	時 期	備 考	図面番号
SD701	Ⅴ・Ⅵ区	N 88°W	山4条16里14･23坪界	坪界地割より南24m	(310)	(220)	(240)	土師器椀，黒色土器，瓦器椀	8～12後	最下層8世紀 一部北へコ字状に張出	1
SD702	Ⅴ区	N 87°E	山4条16里14･23坪界	坪界地割より南24m	(169)	(73)	(102)	黒色土器杯・竈，須恵器杯・皿	9後		2
SD715	Ⅴ・Ⅵ区	N 88°E	山4条16里14･23坪界	坪界地割より南24m	(236)	(90)	(228)	黒色土器，土師器皿，須恵器杯	9後	10初最終埋没	3

6 3　弘福寺領田図北地区比定地

遺構番号	調 査 区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出 土 遺 物 等	時 期	備 考	図面番号
SD01	B区	N 80°W	山8条12里34坪	条里区画溝	(150)	(25)	(5)		8～12		1
SD02	B区	N 80°W	山8条12里34坪	条里区画溝	(60)	(10)	(5)		8～12	04と同一	2
SD03	B区	N 10°E	山8条12里34坪	条里区画溝	(100)	(20)	(5)		8～12		3
SD04	B区	N 10°E	山8条12里34坪	条里区画溝	(80)	(10)	(5)		8～12	02と同一	4
SD06	B区	N 10°E	山8条12里34坪	条里区画溝	(160)	(20)	(13)		8～12		5
SD09	C区	N 70°W	山8条12里27･34坪界	坪界地割より北5m	(160)	(30)	(5)		8～12		6
SD10	C区	N 70°W	山8条12里27･34坪界	坪界地割より北4m	(60)	(8)	(5)		8～12		7
SD12	C区	N 70°W	山8条12里27･34坪界	坪界地割より北12m	(20)	(4)	(5)		8～12		8
SD14	D区	N 10°E	山8条12里27坪中線	坪界地割より東65m	(100)	(20)	(5)		8～12		9
SD15	D区	N 10°E	山8条12里27坪中線	坪界地割より東16m	(26)	(6)	(5)		8～12		10
SD16	D区	N 10°E	山8条12里27坪中線	坪界地割より東17.5m	(64)	(6)	(5)		8～12		11

6 5　西尾遺跡

遺構番号	調 査 区	流路方向	検出位置（坪番号）	現況坪界線との隔たり	検出幅 (cm)	残存深度 (cm)	検出延長 (m)	出 土 遺 物 等	時 期	備 考	図面番号
SD01～09	1～5区	(N14～22°E)	山1条7里27坪中線	中線想定線より西8 m	30～80	5～26	4～12	須恵器，土師器	8		1
SD10	1～5区	(N80°W)	山1条7里21･28坪界	坪界想定線より北4 m	30～50	15	21	須恵器高台付杯身	8後		2
SD13	2区	(N80°W)	山1条7里21･28坪界	坪界想定線より南	40	10	13	土師器			3
SD16	3区	(N74°W)	山1条7里22･27坪界	坪界想定線より南15 m	40	10	5	須恵器杯身・甕，土師器	8～9前		4
SD17	3区	(N74°W)	山1条7里22･27坪界	坪界想定線より南18 m	80	10	15	須恵器高台付杯身，土師器皿	9		5
SD18	3区	(N70°W)	山1条7里22･27坪界	坪界想定線より南25 m	60	12	35	須恵器杯身	9		6

凡例：1．条里関連遺構として抽出したのは，概ね現地表面で読みとれる条里坪界線（現行の道路，水路，畦畔，地筆界等）に重複または平行する古代以降の溝状遺構（一部水田畦畔，道路遺構を含む）である。

2．遺跡は，本報告第1部第2章第2節に掲げた比定地周辺遺跡地名表のうち，分類区分Ｂ：条里関係遺構を含む遺跡に該当するもので，遺跡番号も比定地周辺遺跡地名表に従っている。

3．本表中の計測値（流路方向，検出幅，残存深度，検出延長）の表記に関しては，できるだけ調査報告書等に公式に記載された数値を用いた。本表作成のために新規に計測した数値については(　)書きにて表記した。なお，「現況坪界線との隔たり」の数値はすべて本表作成にあたって計測したものである。

4．空港跡地遺跡については現地割が条里に沿っていないことから，周辺部の地表面条里を延長した坪界想定線を基準として条里遺構の抽出を行った。この結果，条方向については現市道多肥林線に一致する山田郡7条10里1・2坪界を基準として概ね110mの等間隔に坪界線が復原できた。

5．条里遺構か否かの判断は，次による現行坪界線との位置関係を基準としたが，下記の条件から外れるものについても適宜搭載した。

（1）　現行坪界線と重複または一部重複して平行する溝状遺構。

（2）　現行坪界線から予想される条里坪中線に一致または一部一致して平行する溝状遺構。

（3）　現行坪界線または条里坪中線と概ね11m以内の距離で平行する溝状遺構。

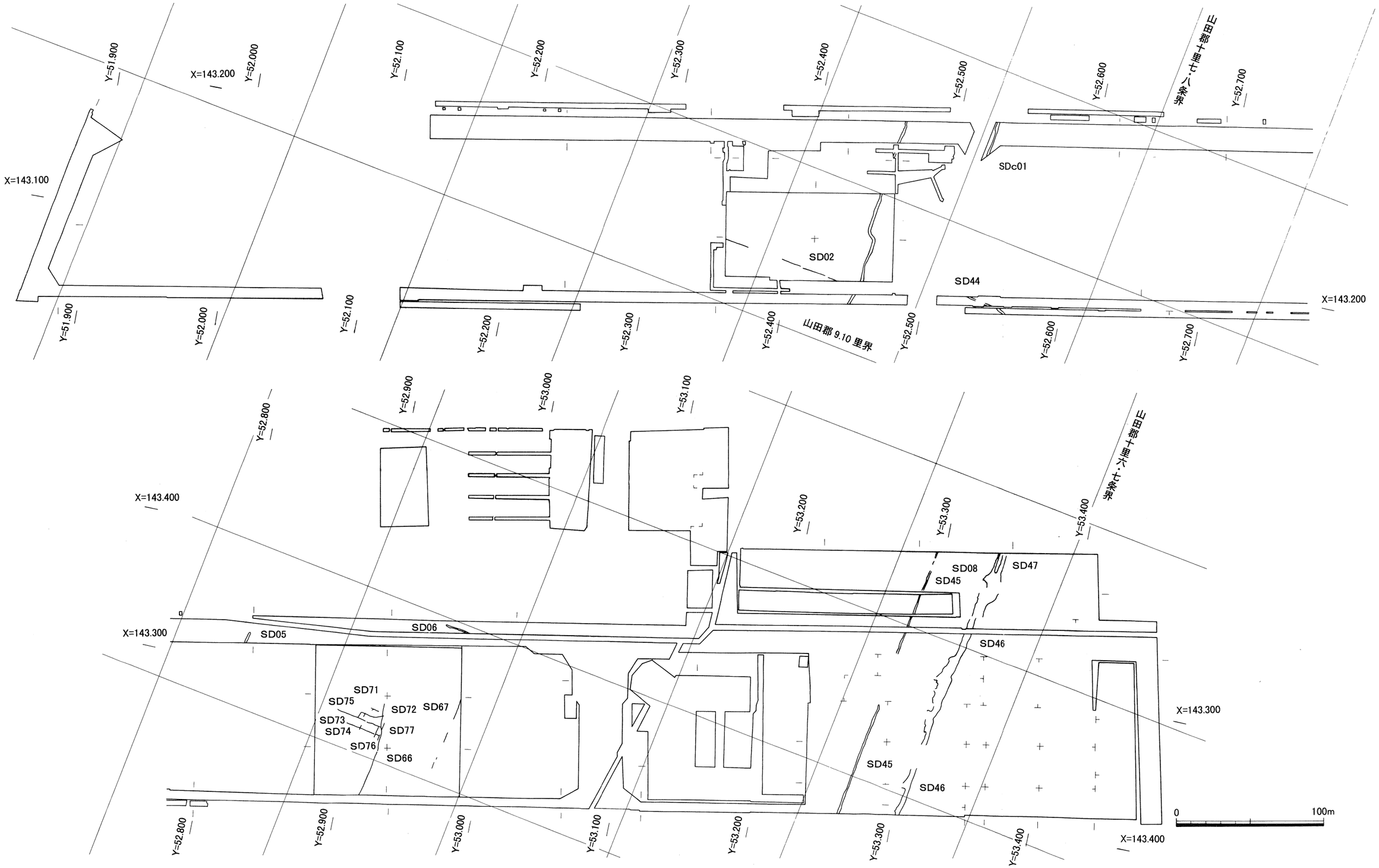
（4）　上記（1）～（3）に該当する溝状遺構と対応して道路側溝等を形成すると思われる溝状遺構。

（5）　ただし，空港跡地遺跡については広域の調査によって遺構分布の把握が他遺跡より容易なことと，坪界想定線が現況の地割によらない不確定なものであることを考慮して，方向が一致していれば坪界想定線から11m以上離れた遺構であっても条里関連遺構として抽出している。

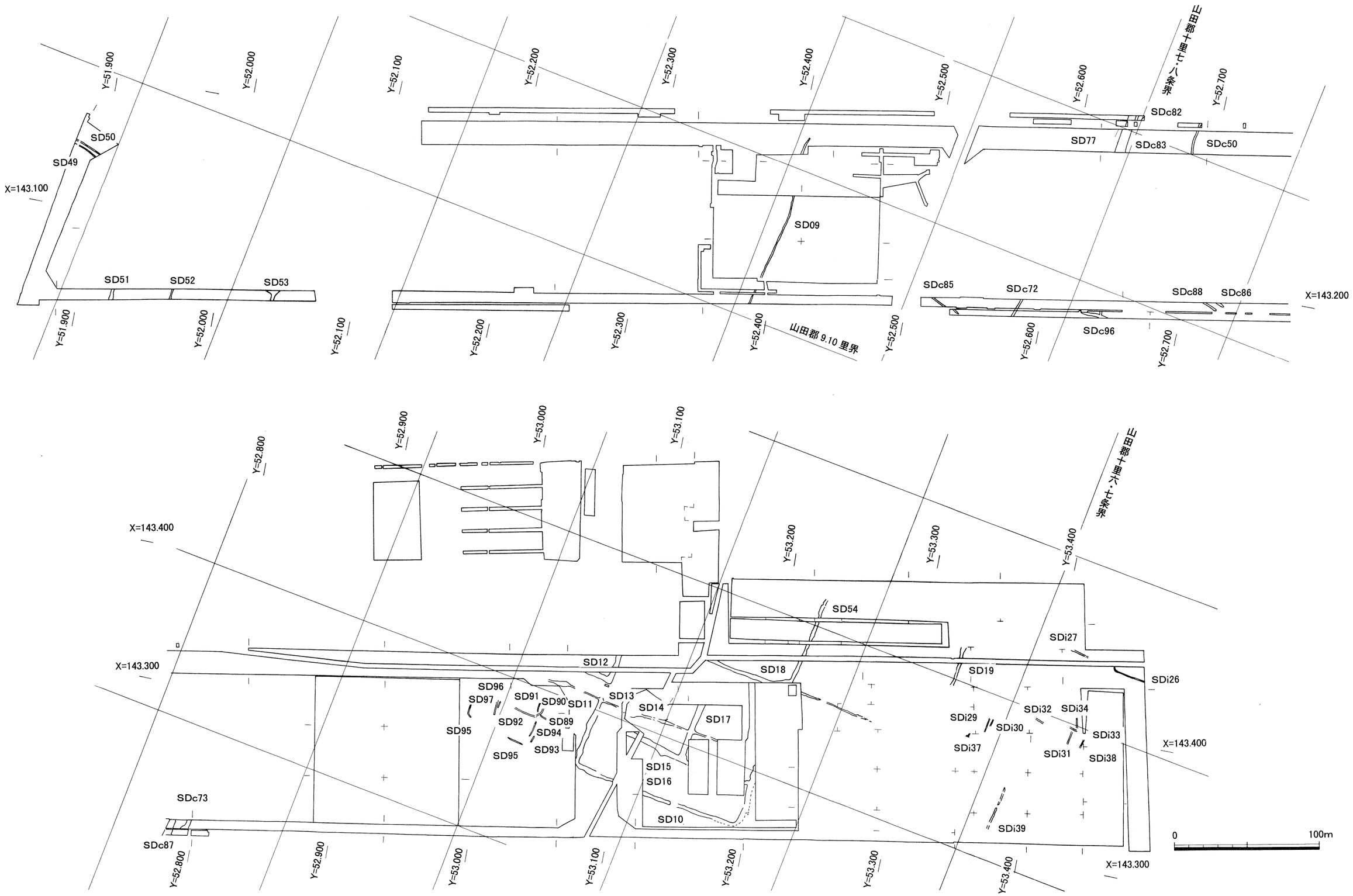
6．本来，条里坪界線に関係する遺構としては溝状遺構以外にも柵列，掘立柱建物（配置方向），水田畦畔，道路遺構等が想定できるが，資料操作が煩雑となるためここでは溝状遺構と一部の畦畔（溝状遺構と至近距離で平行するもの）にとどめた。道路状遺構については溝状遺構の備考事項として末尾に記した。

7．遺構番号については，報告書刊行済みのものについては報告書の記載により，未刊のものについては概報，年報等できる限り刊行物の遺構番号を用いたが，中には（特に高松市教育委員会の調査によるものについては）一時的な仮番号によったものもある。

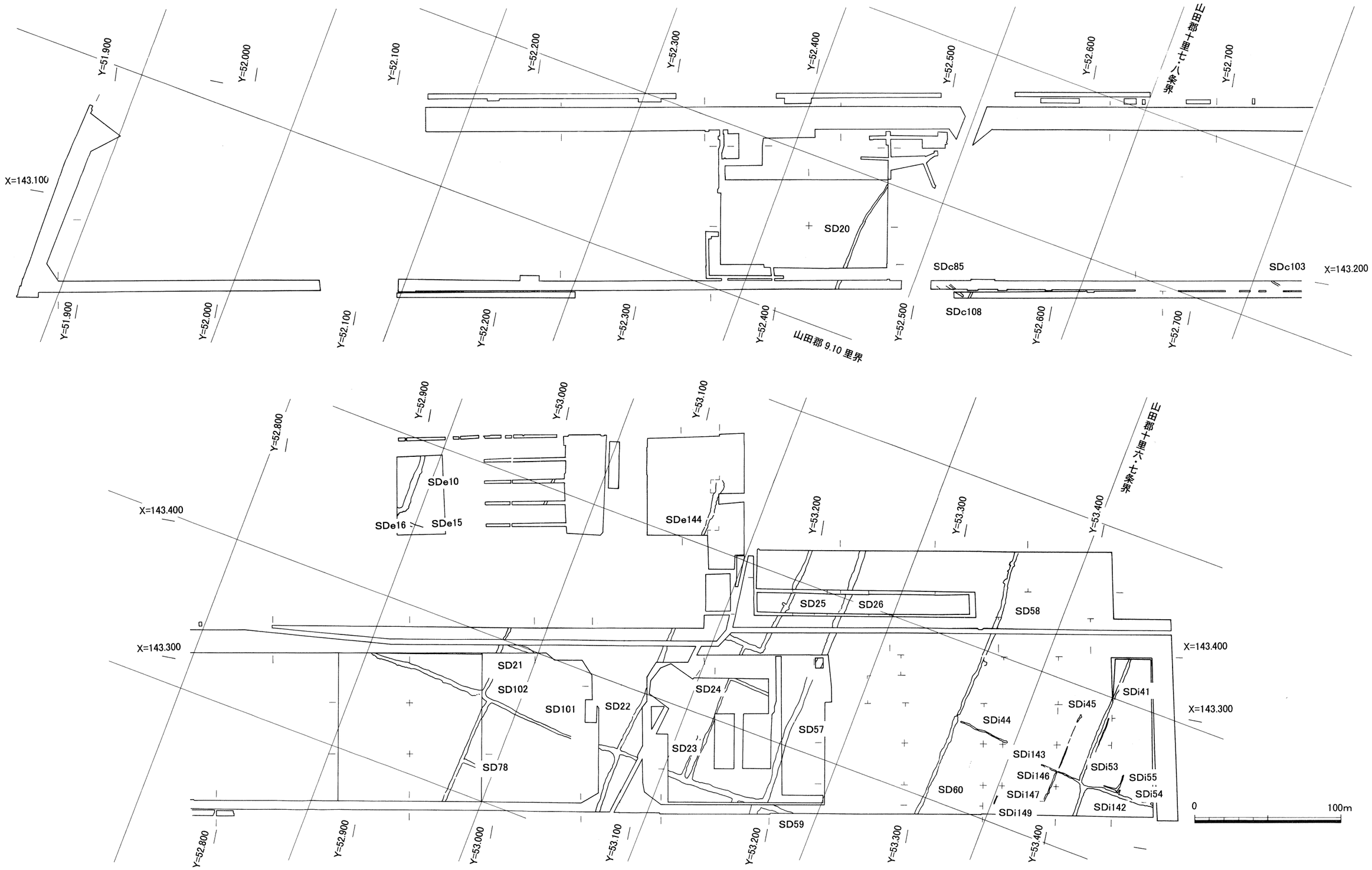
8．遺構の時期については，世紀単位の暦年で表示し，出典資料中に古代，中世，近世と記述してあるものについてはそれぞれ8～12世紀，13～16世紀，17～19世紀を当てた。



第 86 図　空港跡地遺跡条里遺構配置図(奈良・平安時代)



第87図空港跡地遺跡条理遺構配置図(鎌倉・室町時代)



第 88 図空港跡地遺跡条理遺構配置図(江戸時代以降)

1　方向について（第26表）

発掘調査された遺跡を分布と古代の郡界の位置からＡ～Ｆの６グループに分け，各グループごとに検出された溝状遺構の方向を，復原条里の方向からの振れによって，重なるもの（5 度以内），少し外れるもの（6 ～ 10 度），大きく外れるもの（10 度より大）の 3 グループに分け，その割合を時代間で比較した。

その結果，

１類：重なるものの割合が古代から中世，近世・近現代へと順次下がっていくもの（Ｄ，Ｅ）

２類：重なるものの割合が中世で最も高く，古代，近世・近現代へと順に下がっていくもの（Ａ）

３類：重なるものの割合が中世で最も高く，近世・近現代，古代の順に下がっていくもの（Ｆ）

４類：中世に重なるものがなく，その割合が近世・近現代，古代の順に下がるもの（Ｃ）

５類：重なるものの割合が古代，中世，近世・近現代で同じ（100 ％）であるもの（Ｂ）

の５類に分かれた。復原条里の方向が主に現代の地表の地割りから復元されたものである以上，重なるものの割合が近世・近現代から，中世，古代へと下がっていくことも想定されたが，結果はそれとは異なるものであり，むしろ正反対のものが認められた（１類）。これは復原条里が古代の条里と相似であることを示すものである。加えて，これは古代の条里地割の実施を明らかにすると共に，高松平野の条里地割の骨格が古代に完成されていたことを示すものである。しかし，その後の地割の展開に１類～５類の別が認められる点は，高松平野の開発が古代後半（平安期）以降は統一的に行われることはなく，地域毎の展開であったことを示している。なお，山田郡－香川郡界に隣接して，山田郡側にＡ・Ｃグループ，香川郡側にＢ・Ｄグループが分布するが，古代において山田郡側グループの条里地割の方向に重なる溝割合が，香川郡のグループより低い。また，香川郡側のグループの中では鬼無藤井遺跡等のＦグループの重なりの割合が，他より低い（山田郡のＣグループに近い）。郡界から離れる程度に従って地割方向の精度の下がることも推測されるが，条数を同じくするそれより南方のＥグループの溝方向では，条里方向に重なるものが殆どであり，推測の不適当であることがわかる。中世，近世・近現代では，地割方向の重なり度は逆転する。Ｆグループの方が高くなるのである。地割方向の決定過程を明らかにすることは困難であるが，マスタープランと実施プランの二重構造が古代以来存在したことは明らかであり，それが古代後半の開発の個別性と複合して地割を複雑にしているのである。なお，条里地割りの方向から大きく外れる検出溝は，古代で 11.4 ％，中世で 17.6 ％，近世・近現代で 14.4 ％であった。

2　位置について（第27表）

i　位置の同定作業

発掘調査で検出された遺跡を分布と古代の郡界の位置からＡ～Ｆの６グループに分け，各グループごとに検出された溝状遺構の位置を復原条里上で検討し，時代間，グループ間で比較した。なお第 27 表は検出された溝の内，その方向が復原条里の方向に対して± 5 度以内のもの 276（坪内小区画溝は含んでいない）の坪内の位置関係を坪界，中線，半折，長地，半長地を目盛りにした，いわば「坪定規」上の位置を示したものである。中線は坪の中心を通るラインに，半折は坪を 5 分割したラインに，長地は坪を 10 分割したラインに，半長地は坪を 22 分割したラインに重なる溝である。目盛り上では半長地の 19 分の 9 が中線，半折，長地に，また長地の 9 分の 5 が中線，半折に重複するが，中線，半折，長地，半長地の順で同定した。なお一坪には 110 m四方の規格を設定している。

１）　中線・半折・長地・半長地について

中線はＡ，Ｅ，Ｆグループにだけ認められる。

Ａグループでは，古代の条界方向の中線１本と条界方向の半折３本が検出されているが，これは坪内区画としては両立しない。但し坪が異なる上に，半折が検出された坪７条 10 里 16 坪，７条 10 里 24・25 坪，８条 10 里２坪では中線は検出されていない。従って，坪によっては中線に溝が設けられない，坪内区画の方向が坪によっては 90 度振れる，ということであれば，Ａグループ古代での坪内区画に不適当なところはない。中線と半折がセットで検出されていない場合，半折は長地区画に，あるいは半長地区分に該当するものである可能性もある。しかし隣接する溝群で長地区画の関係にあるものはなく，半折区画の関係にあるものが一カ所（８条 10 里１・２坪）で見つかっていること，条界方向の SDO3 は８条 10 里２坪を半折区画に従って３分の２の区間北流し，クランク状の屈折を経た後は半長地区分に従って北隣の 11 坪に延長されていること，このような状況から，現状では半折区分に従う溝のいくつかは，長地，半折のような坪内土地区画には知られていない，幅 5.5 mの区分（半長地）に従った溝である可能性がより高いのである。それはまた同グループの７条 10 里 16 坪の条里方向に従った，縦横に交わる小区画溝の間隔が半長地になっていることからも推定されるのである。

Ｅグループでは中世の条界方向の中線２本と条界方向の半折２本が検出されているが，これも坪内区画としては両立しない。中線は香川郡９条 12 里 15 坪の１本と同郡 11 条 12 里 23 坪の１本である。半折は同郡 11 条 12 里 23 坪の１本と同郡 18 条 12 里 18 坪の１本である。同じ坪で方向を同じにする中線と半折区画が共存する。また精度を落とすと（坪界より 20m 北の東西溝を半折区画に従ったものとすると），中線と組になる半折１本を想定することもできる。中世になって半折区画が崩れたことが想定されるのである。

Ｆグループでは近世の条界方向の中線１本と条界方向の半折１本が検出されている。これも坪内区画としては両立しない。中線は香川郡 10 条 18 里８坪の１本，半折は同郡 10 条 17 里 30 坪の１本である。近隣に位置するが坪を異にしている。土地区画の方向が坪間で異なっていたとすれば，不適当ではない。

２）　郡界・条界・坪界について

山田郡一香川郡の郡界に重なる古代の溝が，Ｃグループで検出されている。山田郡９条 12 里 12 坪の西界にあたる。

香川郡 14 里の１－２条界に重なる溝が，Ｂグループで検出されている。

香川郡１条の 13 － 14 里界に重なる溝が，Ｂグループで検出されている。

ii　全般的傾向

復原条里の方向との差が± 5 度以内の 276 の溝の内（坪内小区画溝は含んでいない），郡界が 0.4 %，坪界（条界１，里界１を含む）が 8.3 %，中線が 3.3 %，半折が 10.5 %，長地が 7.2 %，半長地が 22.1 %，地割，坪内区画に重ならないものが 48.2 %を占める。

〔注目される事項〕

①長地区画に従う溝の低率

坪内区画の内，本来多数を占めるであろうと予測される長地の割合の低いことがまず注目される。しかも古代では僅か２本で長地総数の 10 %である。中世で 12 本，近世・近現代で６本となっている。坪内区画との同定作業では中線，半折，長地，半長地の順で決定したことから，中線・半折に長地溝の幾つかは吸収された可能性はあるが，一方半長地溝の幾つかは長地溝に吸収された可能性があるこ

と，半長地は他の区画溝と重なるにもかかわらず高率であること，長地区画の関係にある溝群はＦグループ 10 条 18 里 2 坪の中世の一例だけであることから，古代の長地区画の少なさは本来それがなかったことを示すものかもしれない。少なくとも検出された溝がすべて水利に関与したことを想定すると，長地区画は水利とははなはだ関連性の希薄なシステムとなる。

②半長地区分溝の高率

半長地の高率も注目される。坪内区画の未検出のＢグループ，半折区画の明瞭なＥグループを除くと，その傾向は各時代，各グループに通有であるが，特に古代において顕著である。複雑な地形，分散する耕地群，小地域単位の水利を想定した場合，耕地経営の水利に関しては，この半長地区分の溝は適合的である。先に見たＡグループ 8 条 10 里 2 坪の古代の溝 SDO3 は半折区画の溝と半長地区分の溝がクランク状の屈折部で結合したものであった。同様の溝の構成は同グループの 7 条 10 里 24・25 坪の古代溝群 SD8・45・46 でも認められる。半長地区分が半折区画のサブシステムであったことも想定する必要がある。

③地割，坪内区画に重ならず，しかも条里方向に従う溝が半数に上ることも注目される。半長地溝の多さに関連する事象であろう。

iii　時代・地域の傾向

溝数が極端に少なく，統計上その数値に意味が求めにくい地域を除くと，比較対象はＡ，Ｆの 2 グループ間の比較となる。

Ａグループでは条界方向において古代，中世，近世・近現代の順で復原条里地割，坪内区画との重なる割合が低くなる。古代で 61.5 ％である。里界方向でも同じであるが，中世と近世・近現代の割合が近づく。条界方向と里界方向で復原条里地割，坪内区画との重なる溝数はほぼ同数であるが，古代では，条界方向が里界方向の 2 倍以上となっている。

Ｆグループでは条界方向において検出溝の復原条里地割，坪内区画との重なる割合は，中世と近世・近現代が 50 ％，古代が 37.5 ％と，古代が低くなっている。里界方向では近世・近現代，古代，中世の順に下がる。条界方向と里界方向の間で復原条里地割，坪内区画との重なる溝数を比較すると，里界方向が条界方向の約 60 ％になっている。近世・近現代が 3 分の 2 に，中世が半分以下となっているのが主因である。古代ではほぼ同数である。重なり率で比較すると古代，近世・近現代では両方向間に差が無く，中世で里界方向が 40 ％低減しているのである。中世で大きな変革が認められる。

なお溝総数は中世が 74，近世・近現代 35，古代 30 である（第 26 表）。

以上，復原条里における検出溝の位置を 2 グループで比較した。復原条里が高松平野の地割の基本であり，古代以来のものであることが確認される。ところが，各時代でも，グループ内での変遷でもグループ間に差が顕著である。Ａグループでは中世の変化を近世・近現代が継承している。Ｆグループでは中世で大きな変化があり，近世・近現代にも変化するが，近世・近現代の変化の方向性はむしろ古代への接近を示すものとなっている。この高松平野の条里地割の展開は，先にみた復元条里の方向と検出溝の関係から想定された展開に地域差を認める点で同じものであり，さらにその内実を示すものである。なお，Ｆグループの中世の大きな変化は，その西方に位置する勝賀山城や佐料の城館を築いた香西氏の支配による再開発を想定させるものであるかもしれない。

グループ	地域	時期	条里地割方向との関係					
			従		準		非	
			北線	東西線	南北線	東西線	南北線	東西線
A	空港跡地 一角 宮西・一角	古代 19 (7)	13 (3)	3	0	0	1 (4)	2
		中世 39 (6)	17 (2)	14 (2)	2 (2)	3	1	2
		近世 近現代 54	21	16	5	2	7	3
B	多肥松林 松林 日暮・松林 凹原	古代 1	1	0	0	0	0	0
		中世 6	2	4	0	0	0	0
		近世 近現代 3	0	3	0	0	0	0
C	さこ・長池II さこ・長池 さこ・松ノ木 林・坊城 弘福寺北地区	古代 14 (5)	8 (3)	1 (2)	2	3	0	0
		中世 4	0	0	3	1	0	0
		近世 近現代 3	3	0	0	0	0	0
D	松縄 キモンドー 蛙股 天満宮西 井出東Ⅰ	古代 23	9	12	0	1	0	1
		中世 2	1	1	0	0	0	0
		近世 近現代 2	0	2	0	0	0	0
D	上天神 西ハゼ土居	古代 3	2	1	0	0	0	0
		中世 3	0	2	0	0	1	0
		近世 近現代 7	2	1	3	1	0	0
—	西尾	古代 6	0	2	1	3	0	0
		中世 0	0	0	0	0	0	0
		近世 近現代 0	0	0	0	0	0	0
E	中間西井坪 正箱薬王寺 兀塚	古代 6	1	5	0	0	0	0
		中世 17	6	4	3	2	1	1
		近世 近現代 7	2	2	0	1	2	0
F	鬼無藤井 西打 香西南西打 筑城城跡	古代 25 (5)	8 (4)	11 (1)	0	1	5	0
		中世 74	40	29	2	0	1	2
		近世 近現代 35	18	12	1	0	4	0

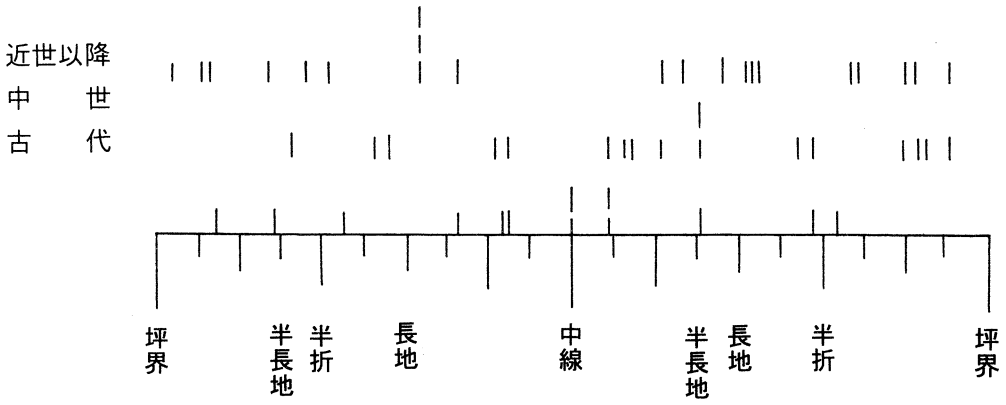
※　南北線は条界方向　東西線は里界方向を示す
※　従は±5度以内　準は±10度以内　非は±10度より大の振れを示す
　（）の数字は外数で，中線，半折，長地，半長地に含めない坪内小区画溝数を示す

第26表　発掘調査検出溝の方向と復元条里の関係

地域 (地割り方向)	時期 該当溝数	坪界	中線	区　画			ｸﾞﾙｰﾌﾟ
				半折	長地	半長地	
空港跡地 一角 宮西・一角 （条界方向）	古代　13	0	1	3	0	4	A
	中世　17	0	0	3	1	4	
	近世　21 近現代	0	0	2	2	4	
空港跡地 一角 宮西・一角 （里界方向）	古代　3	0	0	3	0	1	A
	中世　14	1	0	1	3	4	
	近世　16 近現代	0	3	3	1	3	
多肥松林 松林 日暮・松林 凹原 （条界方向）	古代　1	1	0	0	0	0	B
	中世　2	1	0	0	0	0	
	近世　0 近現代	0	0	0	0	0	
多肥松林 松林 日暮・松林 凹原 （里界方向）	古代　0	0	0	0	0	0	B
	中世　4	2	0	0	0	0	
	近世　3 近現代	2	0	0	0	0	
さこ・長池II さこ長池 さこ・松ノ木 林坊城 弘福寺北地区 （条界方向）	古代　8	1	0	1	1	4	C
	中世　0	0	0	0	0	0	
	近世　3 近現代	1	0	0	0	1	
さこ・長池II さこ・長池 さこ松ノ木 林・坊城 小山南谷 弘福寺北地区 （里界方向）	古代　1	0	0	0	0	0	C
	中世　0	0	0	0	0	0	
	近世　0 近現代	0	0	0	0	0	
松縄 キモンドー 蛙股 天満宮西 井出東Ｉ （条界方向）	古代　9	0	0	1	0	4	D
	中世　1	1	0	0	0	0	
	近世　0 近現代	0	0	0	0	0	
松縄 キモンドー 蛙股 天満宮西 井出東Ｉ （里界方向）	古代　12	0	0	3	0	2	D
	中世　1	1	0	0	0	0	
	近世　2 近現代	0	0	0	0	1	

地域 (地割り方向)	時期 該当溝数	坪界	中線	区画			ｸﾞﾙｰﾌﾟ
				半折	長地	半長地	
上天神 西ハゼ土居 （条界方向）	古代 2	0	0	0	1	1	D
	中世 0	0	0	0	0	0	
	近世 近現代 2	1	0	0	0	1	
上天神 西ハゼ土居 （里界方向）	古代 1	1	0	0	0	0	D
	中世 2	1	0	0	0	0	
	近世 近現代 1	0	0	0	1	0	
中間西井坪 正箱薬王寺 兀塚 （条界方向）	古代 1	0	0	0	0	0	E
	中世 6	1	2	2	0	0	
	近世 近現代 2	0	0	0	0	1	
中間西井坪 正箱薬王寺 兀塚 （里界方向）	古代 5	0	2	0	0	1	E
	中世 4	1	0	0	0	0	
	近世 近現代 2	0	0	0	0	0	
鬼無藤井 西打 香西南西打 筑城城跡 （条界方向）	古代 8	1	0	0	0	2	F
	中世 40	4	0	2	5	9	
	近世 近現代 18	2	1	1	0	5	
鬼無藤井 西打 香西南西打 筑城城跡 （里界方向）	古代 11	0	0	0	0	4	F
	中世 29	0	0	3	3	3	
	近世 近現代 12	1	0	1	2	2	

第 27 表　発掘調査検出溝の種類



【参考】坪内区画定規（Aグループ　例）縮尺 1/1,000

第２章　古代中世の高松平野

第１節　高松平野における条里地割の形成

金田章裕

１　高松平野の条里プランとその基準

高松平野の条里プランが第91図のような状況であったことは，すでに明確となっている[1]。その概要を略述すると次の如くである[2]。

讃岐国山田郡の条は東から西へ数詞で数え進み，里は南から北へと数詞で数える。東辺は三木・山田郡界から始まり，西辺は山田・香川郡界であるが，西辺の９条は坊（坪）の区画一列分のみとなっている。里についても１条～８条は東西に同一数の里が並ぶが，９条のみは１条～８条の５里分北側から１里が始まっており，東側の里よりそれぞれ５だけ若い里数となっている。坊（坪）並は，各里の東南隅から始まり西へ数え進む千鳥式である。

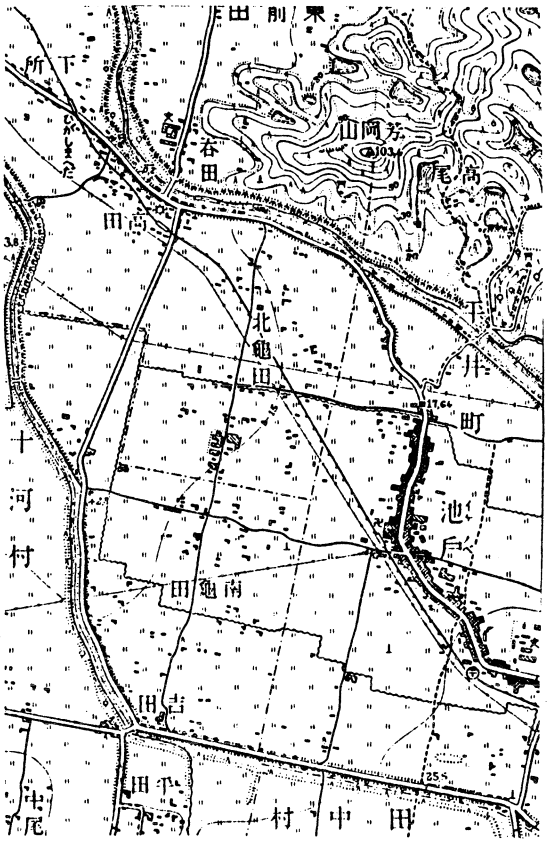
山田郡の東西を画する郡界線はいずれも直線であり，後に詳述するように，東側の直線郡界を基準として，方格の南北線が存在し，郡界線と同様に約10度東へ傾いた（N10°～11° E）方位となっている。

南海道はこれと直交する状況で東西方向に直線状にのびており，その位置は，丘陵部における切り通し状の遺構および隣接条里地割の南北幅の延びとして確認することができる[3]。南海道はまた，山田郡１～８条の７・８里，９条の２・３里の里界線にも相当する。

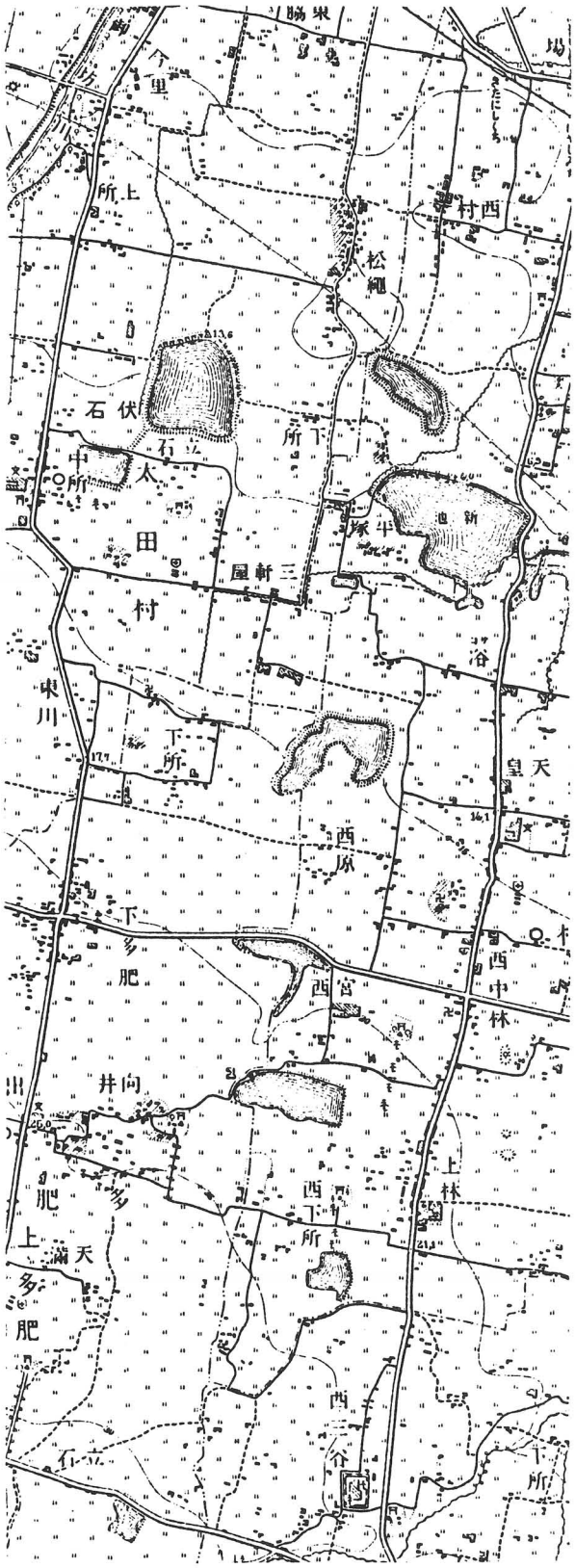
各郡東側の直線郡界と直線状の官道である南海道を基準として，条里地割と条里呼称のいずれもが施工・編成されている以上のような状況は，基本的に讃岐国各郡に共通する。つまり，条里プランは各郡とも同一の原理で編成されたとみられる。

山田郡条里プランの基準となったと見られる三木・山田郡界は，高松市と三木町の境界の芳尾山（標高102.7 m，旧版地形図中の芳岡山）東肩とその南側の二子山（180.4 m）の東肩を結ぶ直線と合致し，第89図のような直線状の境界線は，現在も高松市と三木町の境界線に踏襲されている。南海道の方は，木田郡三木町の白山（標高203 m）の南麓と高松平野西端に位置する旧香川郡（現高松市）の六ツ目山（標高317 m）の北肩を結ぶ直線となっている。後者は六ツ目山と北側の伽藍山の間の鞍部の峠越地点でもある。

一方，山田郡西端の山田・香川郡境は，高松市日山西側の西コブ山（標高116 m）の西肩ないし，その南の実相寺山（250 m）の山頂を通る直線であり，かつてはこの直線を軸として高松市と木田郡木太村，香川郡



第89図　旧三木、山田郡境
（木田郡十河村、平井町界、昭和３年測図　1:25000「高松南部」）



第90図　旧山田・香川郡境（木田町木太村・林村・三谷村と高松市・香川郡太田村・多肥村との境界、昭和3年測図 1:25000「高松南部」。なお、上図宮西・西下所の中間の池が台地、その西方が桜木神社、東北方が岩田神社）

太田村・多肥村と木田郡林村・三谷村の境界線が存在した（第 90 図参照）。しかし，北側の目標物に相当するものは平野中には見当たらない。この直線郡界は，ほぼN9°Eの方向を示し，前述の三木・山田郡界に比べ1度程度西よりの方位を示していることになる。その結果，山田郡田図に表現された南北二ヵ所の弘福寺領のうち，北地区が比定される 9 条 7 里付近では，山田香川郡界線に接する同里東端の坊区画列はほぼ 109 m程度の標準的規模となっているが，北側では次第にこれより広くなり，南側では逆に狭くなることになる。従って，山田郡田図南地区が比定される9条4・5里付近，すなわち旧高松空港西端付近では，東西幅が著しく狭くなり，80 m前後となる。

2　山田・香川郡境と条里プラン

郡界線と地表で検出される条里プランとの対応を，さらに詳細に検討すると第 28 表のようになる[4]。

山田郡東端の三木・山田郡境はN 11°Eの方向を示し，山田郡1条～4条の方格の南北線はほぼこれと等しい方位となっている。その西側の5～8条付近付一帯では，これよりやや西寄りのN 10°E程度の方位となっている。一方山田郡西端の山田・香川郡界はほぼN9°Eの方位であり，その西側の香川郡1～5条付近もほぼこれに等しい方位となっている。

第28表　高松平野における条里プランの方位（東傾斜角度）

三木・山田郡境	N11.0°E
山田郡1・2条境	11.0
2・3	11.5
3・4	11.0
4・5	（不明確）
5・6	10.5
7・8	10.0
8・9	10.0
山田・香川郡境	9.0
香川郡1・2条界	9.0
2・3	（不明確）
4・5	9.5

第 91 図　高松平野西部の条里プラン（金田,1993）

以上のことを換言すると，山田郡東半の春日川以東ではN 11°Eの方位が，西半の同川以西ではN 10°Eの方位が一般的であり，香川郡の御坊川（香東川の旧河道）以東付近では，N9°Eの方位が卓越していることになる。この単位で全体に少しずつ方位が異なっていることになる。ただし，さらに細かくみればそれぞれの単位の内部に数多くの齟齬を含み，小条里地割区とでも称し得る小単位の集合であるという一般的にみられる状況は，山田郡・香川郡付近においても同様である[5]。

第29表　山田郡および香川郡東部の1条分の東西幅

山田郡	1・2条	7・8 里界	665m
	〃	8・9 里界	658m
	3条	7・8 里界	650m
	〃	9・10里界	665m
	4・5条	11・12里界	683m
	4～6条	7・8 里界	657m
	5・6条	11・12里界	657m
	7条	8里中央部	665m
	〃	11・12里界	655m
	8条	10里中央部	665m
	〃	11・12里界	665m
香川郡	1条	13里中央部	665m
	〃	15・16里界	655m
	〃	17・18里界	655m
	2条	15・16里界	665m
	〃	17・18里界	650m
	3条	15・16里界	645m
		16・17里界	660m
	4条	15里中央部	650m
	1～3条	15・16里界平均	655m

さらに第 29 表によって，このような条里プランの南北線間の東西距離[6]をみると，次のような状況が判明する。山田郡では東西の1条分の幅が 650 ～ 683 mとなっており，1坊（坪）分に換算すると，108.3 ～ 113.8 mとなるが，いずれの場合も条の界線に相当する径溝は厳密な直線ではなく，多少の湾曲をしているために場所によってその差が大きい。ところが，各条の7・8里界，すなわち南海道沿いで1～6条の平均値を取ると1条幅が 658.5 m，1坊（坪）の幅が 109.8 mとなる。7・8条ではこれより少し平均値が大きく，1～8条全体としては1坊（坪）分はほぼ110 m程度となる。

第 28 表で示したように，春日川東岸付近の3・4条付近でほぼN11°E，西側ではN10°E程度の方位を示しているが，まさしくその中間の4・5条は，11・12 里付近では1条分の東西幅が約 683 mと著しく広くなっていることが知られる。つまり，4・5条付近が北へ行くほど若干広がった形状となっていることを示す。

一方香川郡東部では，第 29 表のように，1条～4条一帯の1条分の幅は約 645 ～ 670 m，1坊分に換算して 107.5 ～ 117 mとなっている。ここでも，個々の湾曲分を除くために1～3条間の 15・16 里界線上の平均値を求めると，1条分 655 m，1坊分 109.2 mと算出される。香川郡東部の方が一般値に近似し，山田郡の平均値より方格の一辺が1 m程度小さいことになる。香川郡1条の東西幅は，前述のような山田・香川郡界を1条東辺とした計測であるから，香川郡東部付近の条里プランは全体としてこの郡界線を基準として成立しているとみなし得ることになる。

3　南海道と条里プラン

南海道と条里プランの関係についても検討しておきたい。

すでに述べたように，讃岐国の平野部における南海道は，山頂・山肩・山麓といった明瞭な地形目標を結ぶ直線道として設定されており，また，条里プランの里界線としてその基線となっていること，やはり直線で設定されている郡界線と直交していることが明らかとなっている[7]。山田郡・香川郡の部分では，高松平野東南部の三木町白山の南麓と，同平野西南部六ツ目山の北肩を結ぶ直線が古代南海道の基本ルートであったとみられる。近世の南海道は，平野東部と西部では，ほぼこの位置を踏襲しているが，その中間の春日川と香東川間ではやや南側をたどっている。この部分において，旧官道の遺構と判断される地割列や，台地部分における切り通し状の形状が見られることもすでに述べた。

平成7年度における第2次弘福寺領山田郡田図調査事業の一環として，高松市三谷町の旧官道に相当する部分において発掘調査が実施され，その遺構と考えられる切り通し・堆積部分が検出された。

ここではまず，山田郡・香川郡の部分における南海道についてのデータを整理し，若干の考察を加えたい[8]。

（1） 南海道と条里プラン

南海道のルートは第 92 図のように，山田郡の春日川以東と，香川郡の香東川以西では，古代の位置がほぼそのまま近世以降にも踏襲されているとみられる。第 91 図に概要を示したように，同時に条里プランの里界線にも相当する。ただし厳密には，山田郡のＡ地点以東では，吉田川の北側の堤上を通るためにやや北側の位置であり，香川郡のＣ地点以西は少し北に湾曲している。従って，山田郡ではＡ－Ａ’が，香川郡ではＣ－Ｃ’が条里地割の方向とも完全に合致する直線部分であることになる。

そこで，Ａ－Ａ’の方向を西に延長すると山田・香川郡境ではＢ地点に達する。一方Ｃ－Ｃ’を東へ延長してもほぼＢ地点付近に達するが，正確にはＡ－Ａ’延長地点より若干南よりに向うことになる。その理由はＡ－Ａ’が正確な東西方向に比べ約 11 度西上がり（Ｎ 79 °Ｗ）であり，Ｃ－Ｃ’が同様に約 10 度西上がり（Ｎ 80 °Ｗ）であることにかかわる。Ｂ－Ｃ’間つまり香川郡東部の南海道付近では条里地割の方格線はやや不整形であるが，Ｄ地点にある田村神社東側一帯の条里地割の方格線は，2,500 分の１図[9]上におけるＣ－Ｃ’の延長にほぼ合致するが，Ａ－Ａ’の延長線とは大きくずれている。つまり，香川郡東部の古代南海道の位置は，条里地割の方格線との合致を前提として考える限り，Ａ－Ａ’の延長線ではなく，Ｃ－Ｃ’の延長線上に推定すべきことになる。

推定古代南海道のこのような方位は，推論の基礎に条里地割と合致している部分を使用していることから当然のことではあるが，条里地割の方位とも同一傾向にある。山田郡Ａ－Ａ’部分では条里地割の南北線が前述のように約 11 度東へ傾いており（Ｎ11°Ｅ），香川郡Ｃ－Ｃ’部分では 10 度傾いている（Ｎ 10 °Ｅ）から，南海道の直線はこれらと完全に直交していることが知られる。条里地割の方位は，南海道Ａ’－Ｂ間に相当する山田郡西部で約 10 度，Ｃ’－Ｂ間に相当する香川郡東部で９～ 9.5 度程度東に傾いているから，Ａ’－Ｃ’間の南海道は，厳密な直線ではないことになる。しかし，すでに述べたように，少なくともＤ地点付近では，Ａ－Ａ’の延長上ではなく，Ｃ－Ｃ’の延長上の直線であった可能性が高いことになろう。

さて，第 92 図および第 91 図のように推定し得る古代官道沿いには，かなり明瞭な形で条里地割の里の区画を復原することのできる部分がある。その部分についてのみ，推定南海道の南北に接する里の南北距離を計測した結果が第 30 表である。各里の南北幅は 650 m～ 688 mとかなりのばらつきを示していることが知られる。この数値は 2,500 分の１図上において，同表に示した各条における現在

第 30 表　南海道沿いの条里地割別のサイズと推定道幅

	北側里の南北幅	南側里の南北幅	算出される道幅
山田郡一条東辺	650m	688m	21m
二条東辺	655	675	13
三条東辺	663	(665)	11
四条東辺	668	668	19
香川郡五条東辺	670	663	23
八条東辺	668	663	21
九条東辺	675	655	13
十条東辺	670	660	20

(注) 里の南北幅は 2、500 分の1図上の計測による。算出される道幅は、南海道2里分から里のサイズの平均値を除いた数値。